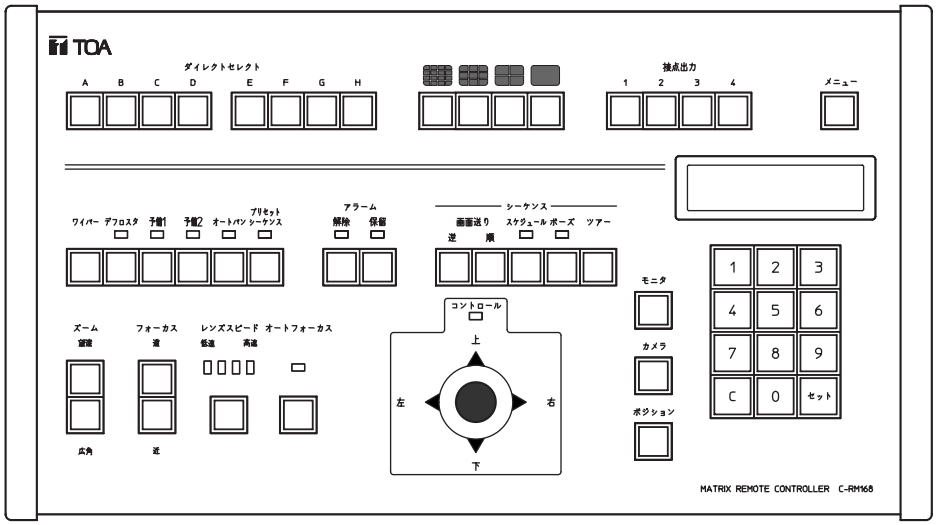
中規模マトリクススイッチャシステム

TOA

操作説明書

マトリクスリモートコントローラ
C-RM168



取扱説明書の構成

中規模マトリクススイッチャシステムの取扱説明書は、3冊に分かれています。目的に応じて必要な説明書をお読みください。

中規模マトリクススイッチャシステム 取扱説明書
「システム概要・動作編」「設置工事編」（C-MX168に付属）

システムの概要、特長、機能・動作の説明、および機器の接続のしかたなどについて記載しています。操作する人は「システム概要・動作編」、システムを設定する人は「システム概要・動作編」と「設置工事編」の機器設定の部分をお読みください。

マトリクスリモートコントローラ C-RM168 操作説明書（本書）

マトリクスリモートコントローラの操作と設定のしかたを記載しています。操作する人はお読みください。

16×8ビデオマトリクススイッチャ C-MX168 設定説明書（C-MX168に付属）

マトリクススイッチャの設定のしかたを記載しています。システムを設定する人はお読みください。

このたびは、TOAマトリクスリモートコントローラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの操作説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA株式会社

目　次

安全上のご注意 …… 5

概　要 …… 7

特　長 …… 7

使用上のご注意 …… 7

各部の名称とはたらき
- 上　面 …… 8
- 後　面 …… 10

操作の前に
- 電源を入れたときの状態 …… 11
- 液晶画面の表示は
  - ツアーシーケンスしているとき …… 11
  - カメラ1台が画面に表示されているとき …… 11
  - イベントが発生したとき …… 12
- アクセスモードについて
  - ユーザーアクセスモードのときの通常画面への入りかた …… 13
- リモートコントローラの優先順序
  - モニタ対する優先 …… 14
  - カメラに対する優先 …… 14

モニタ、カメラ、ポジションを選択する
- テンキーとモニタ・カメラ・ポジション選択キーで選択する
  - モニタ、カメラ、ポジションを選択する …… 15
  - 現在のモニタに表示させるカメラ（とポジション）を選択する …… 16
  - 現在のカメラのポジションを選択する …… 16
- ダイレクトセレクトキーで選択する …… 17
- 短縮登録を利用して選択する …… 17

シーケンス画面表示で映像を見る
- ツアーシーケンスを動作させる …… 18
- テストシーケンスを動作させる …… 19
- スケジュールに従った動作に戻す
  - 現在のモニタをスケジュールに従った動作に戻す …… 19
  - 担当のモニタをスケジュールに従った動作に戻す …… 20
- シーケンスを一時停止させる
  - シーケンスを一時停止させる …… 20
  - シーケンスを再開させる …… 20
  - 担当のモニタすべてのシーケンスを一時停止または再開させる …… 20
- シーケンス一時停止中の画面送り …… 21
- シーケンスを停止させて固定画面にする …… 21

カメラを操作する
ジョイスティックでカメラを旋回させる …… 22
ワイパーを動作させる …… 23
デフロスタを動作させる …… 23
予備接点を制御する …… 23
オートパン機能を動作させる …… 24
プリセットシーケンス機能を動作させる …… 24
ズーム機能を動作させる …… 24
フォーカス機能を動作させる …… 25
レンズスピードを変える …… 25
オートフォーカス機能を動作させる …… 25

アラームの解除と保留
アラームを解除する
現在のモニタに表示されているアラームを解除する …… 26
担当のモニタに表示されているアラームを一斉に解除する …… 27
アラームを保留する
現在のモニタのアラームを保留する …… 28
担当のモニタのアラームをすべて保留する …… 29
アラーム入力中のマニュアル操作 …… 30

複数のマトリクススイッチャを制御する
テンキーとモニタ・カメラ・ポジション選択キーで選択する …… 31
ダイレクトセレクトキーまたは短縮登録を利用して選択する
例1 …… 32
例2 …… 32
例3 …… 33

同じモニタを複数の機器から操作する …… 33

マルチスイッチャを制御する
多画面表示ですべてのカメラの映像を順次表示させる …… 34
見たいカメラの映像を多画面表示で見る …… 35

設定の前に
設定項目の一覧 …… 36
設定に使用するキー …… 37
メニュー画面に入る
自由アクセスモードのとき …… 38
ユーザーアクセスモードのとき …… 39

システムを設定する
マトリクススイッチャの設定をする …… 40
カメラの設定をする
カメラメニューを設定する …… 41
ポジションメニューを設定する …… 42
アクセスモードの設定をする
自由アクセスモードに設定する …… 43
ユーザーアクセスモードに設定する …… 44
リモートコントローラの優先度を設定する …… 46
ブザーの ON/OFF を設定する …… 47

操作を終了する（ユーザーアクセスモードのとき）
通常画面で終了する …… 48
メニュー画面で終了する …… 48

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号		行為を強制する記号	
分解禁止	禁　止	強　制	電源プラグを抜け

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 画面が映らないとき

電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。

強　制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

本機は、16×8ビデオマトリクススイッチャC-MX168、同軸多重制御ユニットC-PC168、各種カメラと接続し、モニタ、カメラなどを制御するマトリクスリモートコントローラです。
本機でマトリクススイッチャに指示を出し、モニタおよびカメラを切り換えたり、カメラを操作したりできます。

特　長

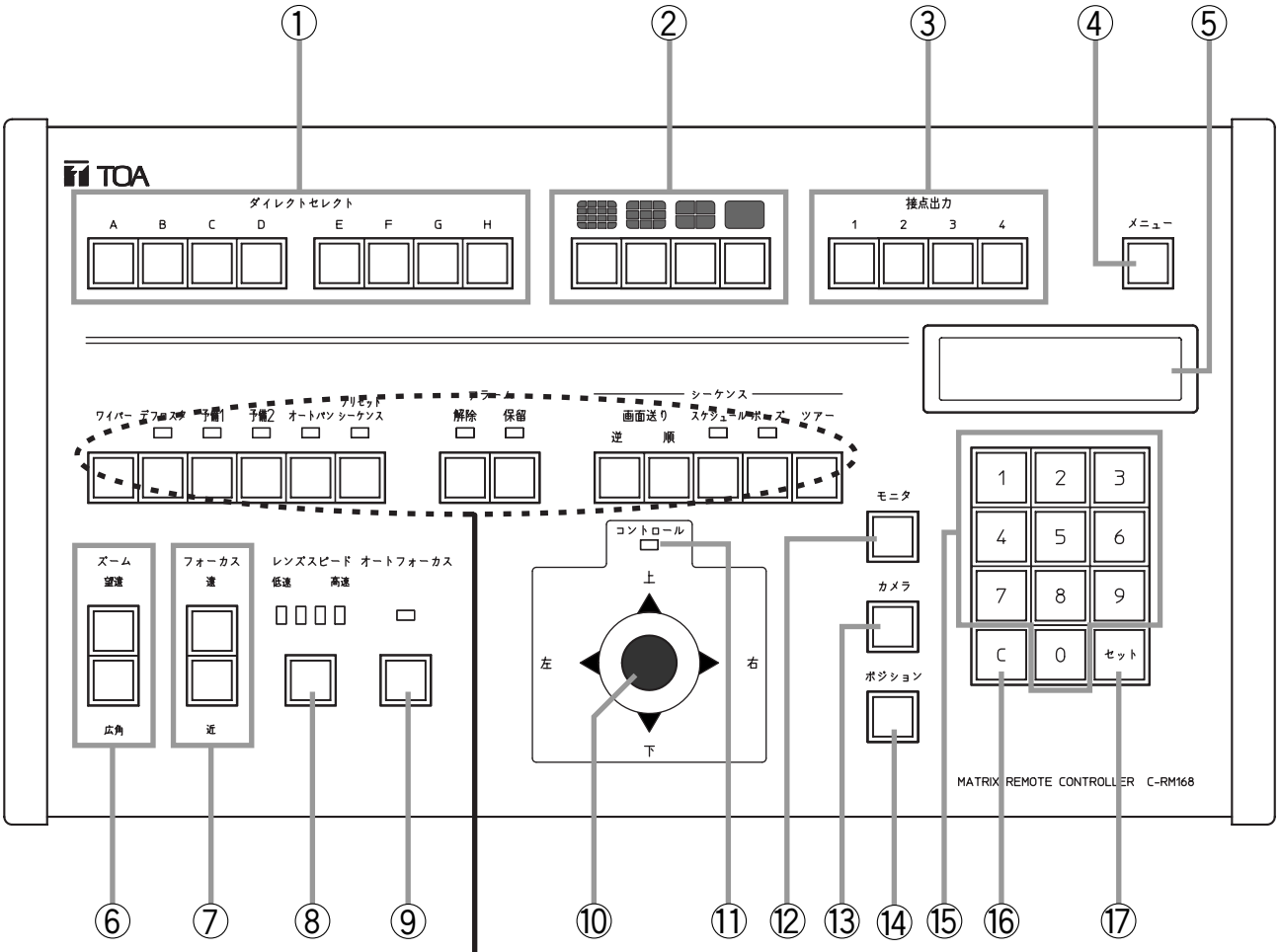
- 最大8台の本機から最大4台のマトリクススイッチャを制御することができます。
- 本機操作の優先順位の設定、ユーザーごとの使用権限の設定など、豊富な機能を備えています。
- カメラ操作を行っているときなど、操作を中断されたくないときに、アラームの受信を保留できる機能を備えています。
- 本機単独で接点出力を備えています。

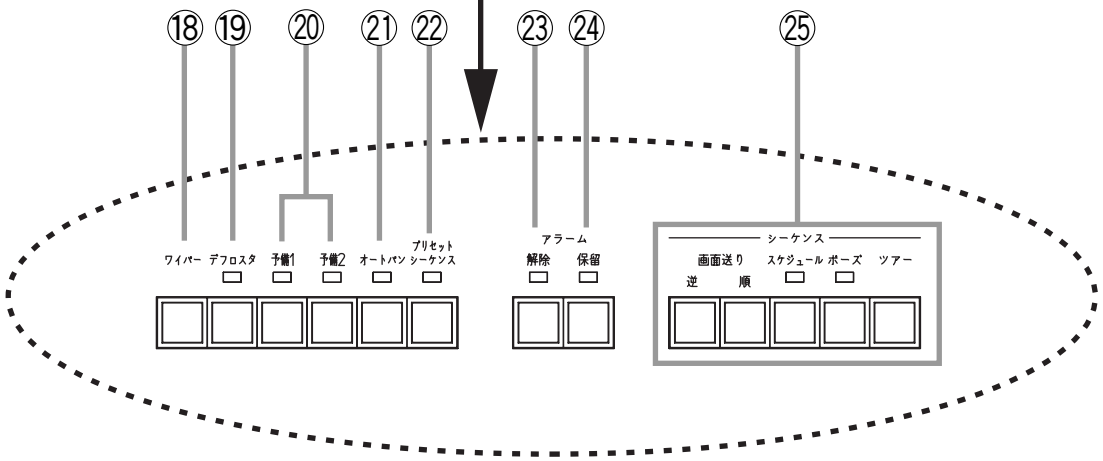
使用上のご注意

- 本機を複数台接続するときは、それぞれ異なるアドレス（機器番号）で使用してください。同一アドレスを使用すると、誤動作をする可能性があります。（☞ 別冊の「中規模マトリクススイッチャシステム取扱説明書」）
- 各機器間の接続は正しく行ってください。接続を間違えると、機器が故障することがあります。
- 室温が0～+50℃、湿度が90%以下の環境で使用してください。
- 湿気やほこりの多い場所で使用したり、放置しないでください。故障の原因になります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

［上面］





● 本書での説明にあたって

「現在の」：現在、リモートコントローラで選択されている（液晶画面に表示されている）
「担当の」：リモートコントローラで受け持っている（リモコン・モニタ制限で設定されている）
という意味で使用しています。

* その機能が動作可能なシステムのときのみ使用できます。

① ダイレクトセレクトキー［A～H］
モニタ番号、カメラ番号、およびポジション番号の対応を登録しておくと、ワンタッチで、複数のモニタの映像を同時にカメラ選択やツアーシーケンスの状態に切り換えることができます。

② マルチスイッチャ制御キー*［ ］
マルチスイッチャ（9、16局）をカメラ番号16に接続すれば、1、4、9、16画面の制御ができます。

③ 接点出力キー
接点出力端子㉘に接続されたVTR、4分割スイッチャなどの外部機器を制御するのに使用します。

④ メニューキー
機能設定をするとき、メニュー画面に入るためのキーです。

⑤ 液晶画面
モニタ・カメラ・ポジション選択の状態やメニュー画面などを表示します。

⑥ ズームキー*
ズーム機能を備えたカメラを接続している場合、広角・望遠の動作をさせることができます。

⑦ フォーカスキー*
カメラの焦点を手動で合わせることができます。

⑧ レンズスピードキー／表示灯（4段階）*
ズームキー、フォーカスキーを押したときのレンズスピードを設定するキーです。

⑨ オートフォーカスキー*
オートフォーカス機能を備えたカメラを接続している場合、自動的に焦点を合わせることができます。

⑩ ジョイスティック
メニュー画面でシステムを設定するときに使用します。
システムに旋回機能を持つカメラが接続されている場合、現在のカメラの旋回操作を行うこともできます。*

⑪ コントロール表示灯
現在のカメラが、マトリクススイッチャで「操作カノウカメラ」と設定されているときに点灯します。シーケンスを表示しているときは消灯します。
現在のカメラ（操作可能カメラ）が初期化動作（電源投入時にカメラの位置を決めるための動作）を行っているときは、点滅表示となります。

⑫ モニタ選択キー
操作するモニタ（マトリクススイッチャを含む）を選択します。

⑬ カメラ選択キー
操作するカメラを選択します。

⑭ ポジション選択キー*
現在のカメラのポジションを選択します。

⑮ テンキー［0～9］
機能設定、モニタ番号、カメラ番号、ポジション番号、ツアーシーケンス番号、短縮番号などを入力するときに使用します。

⑯ クリアキー［C］
液晶画面に表示された数字の消去、ブザーの停止に使用します。

⑰ セットキー
確定した値（数値、または選択肢）をマトリクススイッチャに送信するときに使用します。
メニュー画面でシステムを設定するときにも使用します。

⑱ ワイパーキー*
システムに屋外制御可能なカメラが接続されている場合、ワイパーをON/OFFさせることができます。

⑲ デフロスタキー*／表示灯
システムに屋外制御可能なカメラが接続されている場合、デフロスタ（結露除去用の熱線）をON/OFFさせることができます。

⑳ 予備キー*／表示灯
同軸多重制御リレーボックスの予備出力を制御するキーです。

㉑ オートパンキー*／表示灯
システムにオートパン機能を備えたカメラが接続されている場合、オートパン機能をON/OFFさせることができます。

㉒ プリセットシーケンスキー*／表示灯
システムにプリセット番号が記憶できるカメラが接続されている場合、プリセット番号順にシーケンスさせることができます。

㉓ アラーム解除キー／表示灯
現在のモニタまたは担当のモニタに発生しているアラームを解除するキーです。

㉔ アラーム保留キー／表示灯
アラームを保留するためのキーです。

㉕ シーケンスキー／表示灯

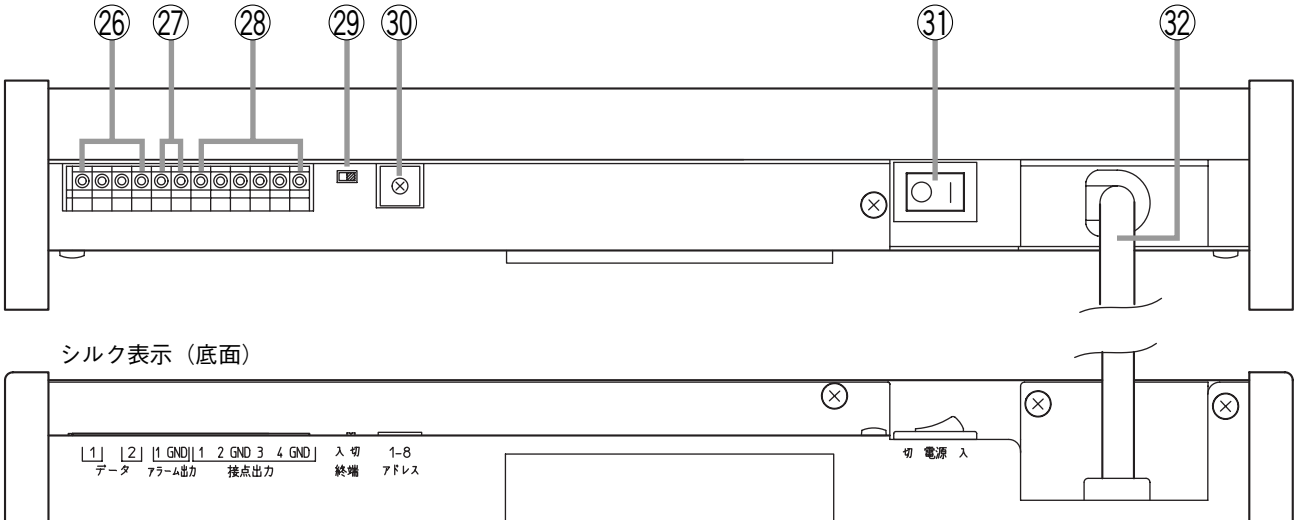
● **逆送り・順送りキー**
シーケンスを一時停止させた後、設定されている順序で1つずつ、逆送りまたは順送りできます。

● **スケジュールキー／表示灯**
マニュアル操作を解除します。あらかじめ設定されたスケジュールに従ったカメラ選択やツアーシーケンスを起動させることができます。

● **ポーズキー／表示灯**
シーケンスを一時停止させることができます。

● **ツアーキー**
ツアーシーケンスまたはテストシーケンスを起動させることができます。

［後面］



㉖ データ接続端子
マトリクススイッチャ、または同軸多重制御ユニットのデータ接続端子と接続します。

㉗ アラーム出力端子
アラームが入力されたとき、接点を出力します（1接点）。アラーム保留中でも、アラーム入力があると出力します。出力が解除されるのは、担当のアラームがすべて解除されたときです。
定格電圧 DC30 V、電流容量 20 mA、NPN オープンコレクタ出力。

㉘ 接点出力端子
制御する機器と接続します。
定格電圧 DC30 V、電流容量 20 mA、NPN オープンコレクタ出力。

㉙ 終端抵抗 ON/OFF スイッチ
距離を延長させるためにリピータを接続したり、バス接続したりするときにこのスイッチを ON に設定します。終端抵抗は 100 Ω です。
通常は OFF にします。
（詳細 ☞ 別冊の「中規模マトリクススイッチャシステム取扱説明書」）

㉚ アドレス設定スイッチ
本機のアドレス（機器番号）を設定するロータリスイッチです。

㉛ 電源スイッチ

㉜ 電源ケーブル
AC100 V 入力です。

※ ブザー（内部の基板上）
担当のモニタにアラームが入力されたときは「ピーピーピー（連続音）」、誤操作のときまたは異常（ビデオロスト*、通信異常など）が発生したときは「ピピ（短音）」と鳴動します。
ブザーを停止させるときは、クリアキーを押します。
また、アラーム保留中にアラームが入力されても、ブザーは鳴動します。
リモートコントローラからのメニュー設定により、ブザー鳴動をリモートコントローラごとに ON/OFF することができます。

* カメラケーブルの断線や未接続の状態

操作の前に

■ 電源を入れたときの状態

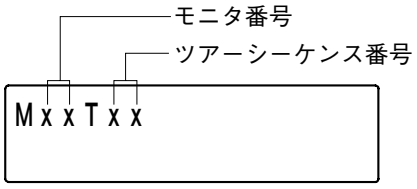
電源を入れると、マトリクススイッチャと通信を行い、 リモートコントローラの状態が決定されます。
システムの中に必ず「アドレス1」のマトリクススイッチャが含まれていなければなりません。
各モニタの映像も、マトリクススイッチャの設定に依存します。

■ 液晶画面の表示状態は

電源を入れると、液晶画面の表示は、ツアーシーケンス（☞P. 18）またはカメラ1台が画面に表示されているときの状態となります。（ただし、ユーザーアクセスモードのときはユーザー番号とパスワードを入力しなければ下記の画面は表れません。☞P. 13）

● ツアーシーケンスしているとき

選択されているモニタ番号とツアーシーケンス番号が上の行に表示されます。

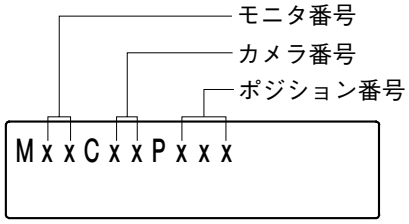


※ x は任意の数字です。

● カメラ1台が画面に表示されているとき

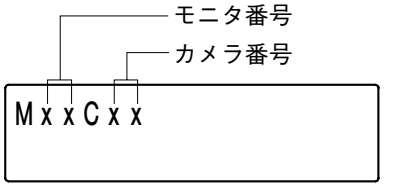
選択されているモニタ番号、カメラ番号、ポジション番号が上の行に表示されます。
1画面選択時の表示状態を示します。

[ポジションを指定できるカメラが選択されているとき]



※ x は任意の数字です。
※ マニュアル操作時は、ポジション番号の部分だけが消えます。

[固定カメラが選択されているとき]



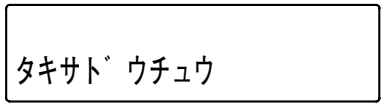
※ x は任意の数字です。

● イベントが発生したとき

下記の状態が生じたとき、液晶画面の下1行にメッセージが表示され1秒後に消えます。

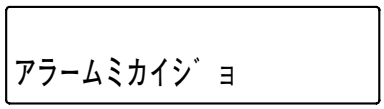
[優先度の高い他のリモートコントローラが動作しているとき]

優先度の高い他のリモートコントローラが、カメラを操作しているとき、または画面を選択している（マトリクススイッチャで設定された通常動作ではない）ときは、右図のように表示されます。



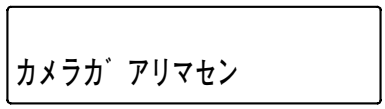
[アラームを解除できないとき]

アラーム入力のタイプを「レベル」と設定されたアラームが入力されているときは、アラーム解除キーを押してもアラームを解除することができません。このようなときは、右図のように表示されます。



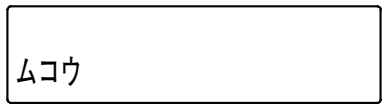
[カメラなしで設定されているとき]

マトリクススイッチャのカメラ設定で「カメラナシ」と設定されたカメラを選択したときは、右図のように表示されます。



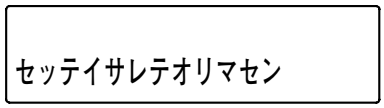
[無効のとき]

システムに存在しないデータを指定したときは、操作が無効となり、右図のように表示されます。



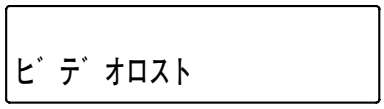
[設定されていないカメラを選択しようとしたとき]

マトリクススイッチャのモニタ・ユーザー設定で設定されていないカメラを選択しようとしたときは、右図のように表示されます。



[ビデオロストのとき]

選択していたカメラがビデオロストになったときは、右図のように表示されます。



■ アクセスモードについて

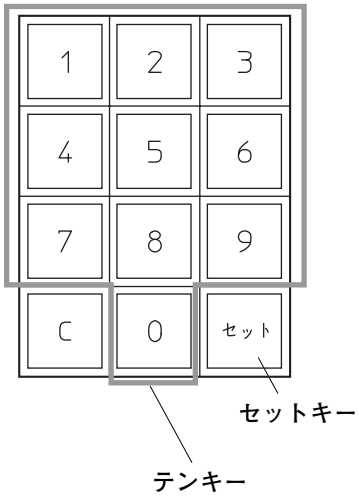
本機は、アクセスモードの設定により、操作する人を制限することができます。(設定のしかた ☞ P. 43)
「自由アクセスモード」では、だれでも操作することができます。(工場出荷時の状態)
「ユーザーアクセスモード」では、操作の前に操作者のユーザー番号とパスワードを入力する必要があります。
このモードに設定されているときは、以下の手順で通常画面に入ってください。

● ユーザーアクセスモードのときの通常画面への入りかた

1 **テンキーでユーザー番号（1～10）を押した後、セットキーを押す。**
使用権限があれば液晶画面がパスワードの画面に変わります。

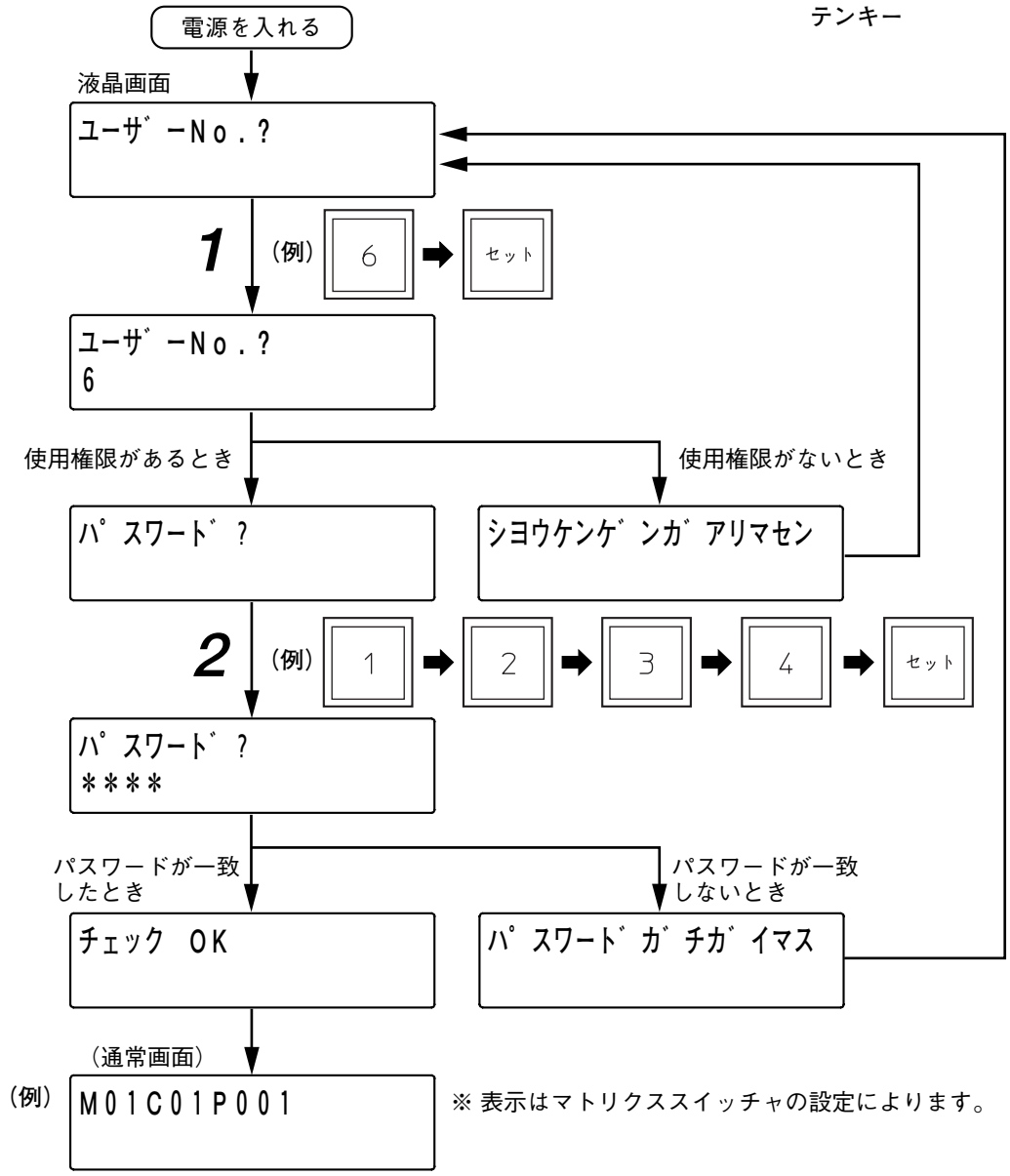
2 **テンキーでパスワード（4桁までの任意の数字）を押した後、セットキーを押す。(パスワードなしのときはセットキーのみを押す。)**
使用権限があれば液晶画面に「チェック　OK」と表示されます。
1秒後に液晶画面が通常画面に変わり、操作できるようになります。

［操作に使用するキー］



ご注意

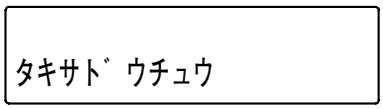
ユーザーアクセスモードで操作した後は、必ずP. 48に示す方法でユーザーアクセスモードを抜けて、「ユーザーNo ?」の画面に戻してください。これをせずに通常画面のままにしておくと、そのリモートコントローラからだれでも操作できる状態になります。



※ 表示はマトリクススイッチャの設定によります。

■ リモートコントローラの優先順序

リモートコントローラの優先度は8段階あり、リモートコントローラごとに自由に設定することができます。（設定のしかた ☞ P. 46）
ここでの設定は、複数のリモートコントローラから同じモニタや同じカメラを操作するときの操作の優先を決定します。
優先度の高い他のリモートコントローラがカメラを操作しているとき、または同じモニタで画面を選択している（スケジュールでない）ときは、液晶画面に右図のように表示されます。

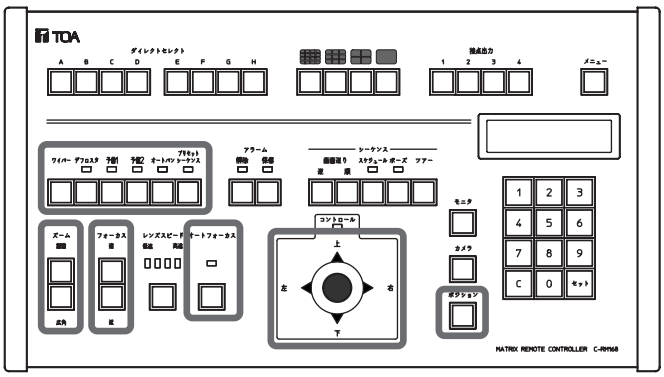


● モニタに対する優先

- 1つのモニタを複数のリモートコントローラが選択しようとしたときには、優先度の高いリモートコントローラの操作が優先となります。
- 優先度の低いリモートコントローラが操作しているときに優先度の高いリモートコントローラが同じモニタを選択すると、優先度の高いリモートコントローラにそのモニタの操作をする権利が移ります。
- 優先度の高いリモートコントローラがモニタに対して操作する権利を持つと、その権利が解除されて優先度の低いリモートコントローラがそのモニタを操作できるようになるのは、次のときです。
  1. 優先度の高いリモートコントローラで他のモニタを選択したとき。
  2. 優先度の高いリモートコントローラでスケジュールキーを押して、選択しているモニタの映像を通常動作（またはスケジュール動作）にしたとき。
  3. 通常動作復帰時間（またはスケジュール自動復帰時間）が設定されているときは、その時間が経過して通常動作（またはスケジュール動作）に復帰したとき。
- 優先度が同じリモートコントローラの操作が重なったときは、後優先となります。

● カメラの操作に対する優先

- 複数のリモートコントローラが異なるモニタで同じカメラを選択、操作しようとするときは、優先度の高いリモートコントローラの操作が優先となります。
- 優先度の低いリモートコントローラが操作しているときに優先度の高いリモートコントローラが同じカメラの操作をすると、優先度の高いリモートコントローラに操作する権利が移ります。
- 優先度の高いリモートコントローラがカメラに対して操作する権利を持つと、その権利が解除されて優先度の低いリモートコントローラがそのカメラを操作できるようになるのは、次のときです。
  1. 優先度の高いリモートコントローラが以下のキーでの操作を終了して3秒経過したとき。
     ワイパーキー、デフロスタキー、予備キー、オートパンキー、プリセットシーケンスキー、ズームキー、フォーカスキー、オートフォーカスキー、テンキー＋ポジションキー、ジョイスティック（下図の枠で囲んだ部分）

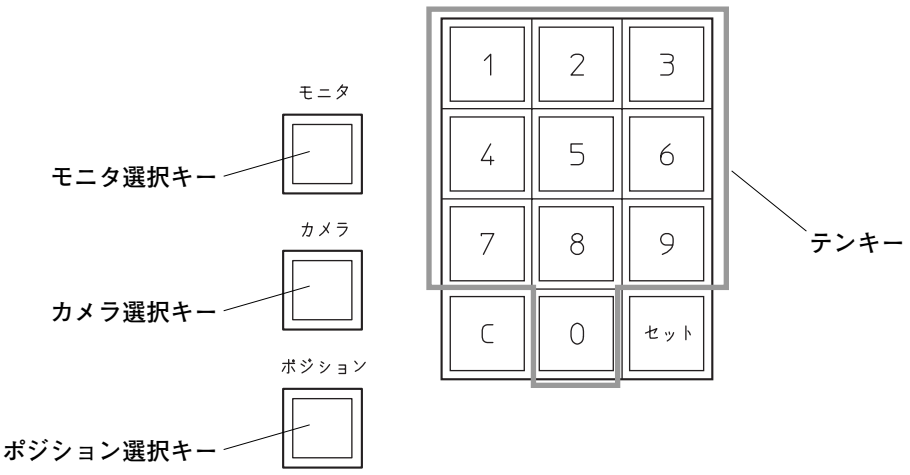


  2. 優先度の高いリモートコントローラで他のカメラを選択したとき。
- 優先度が同じリモートコントローラの操作が重なったときは、後優先となります。

モニタ、カメラ、ポジションを選択する

■ テンキーとモニタ・カメラ・ポジション選択キーで選択する

[操作に使用するキー]



● モニタ、カメラ、ポジションを選択する

1 テンキーでモニタ番号を押した後、モニタ選択キーを押す。

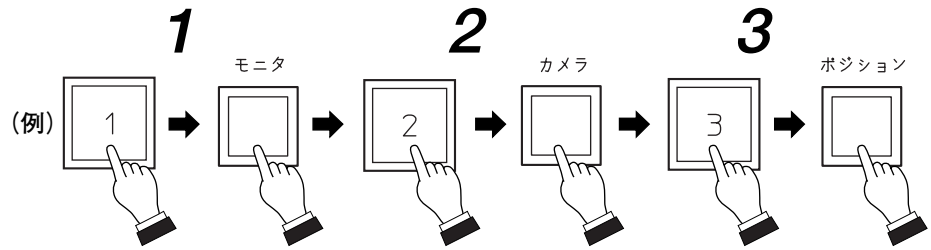
選択したモニタの映像が表示されます。カメラ番号、ポジション番号は、選択したモニタに表示されていたものになります。

2 テンキーでカメラ番号を押した後、カメラ選択キーを押す。

選択したモニタに、選択したカメラの映像が表示されます。ポジション番号は、選択したカメラのその時点でのポジションになります。

3 テンキーでポジション番号を押した後、ポジション選択キーを押す。

選択したモニタに、選択したカメラの選択したポジションの映像が表示されます。



液晶画面

M01C02P003

モニタ画面

M01C02P003
カメラタイトル
ポジションタイトル

ご注意

カメラの設定でトレース機能を使用しているときは、ポジション番号64を選択すると、トレース動作を行います。

● 現在のモニタに表示させるカメラ（とポジション）を選択する

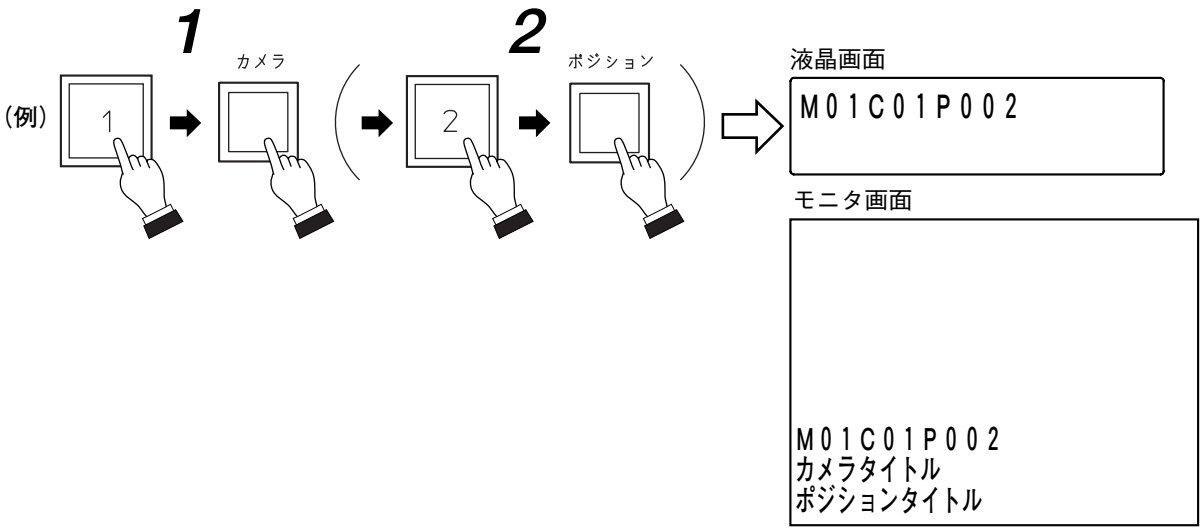
1 **テンキーでカメラ番号を押した後、カメラ選択キーを押す。**

現在のモニタに、選択したカメラの映像が表示されます。ポジション番号は、選択したカメラのその時点でのポジションになります。

2 （ポジションも選択したいとき）

テンキーでポジション番号を押した後、ポジション選択キーを押す。

現在のモニタに、選択したカメラの選択したポジションの映像が表示されます。



ご注意

カメラの設定でトレース機能を使用しているときは、ポジション番号64を選択すると、トレース動作を行います。

● 現在のカメラのポジションを選択する

テンキーでポジション番号を押した後、ポジション選択キーを押す。

現在のモニタに、現在のカメラの選択したポジションの映像が表示されます。

ご注意

カメラの設定でトレース機能を使用しているときは、ポジション番号64を選択すると、トレース動作を行います。

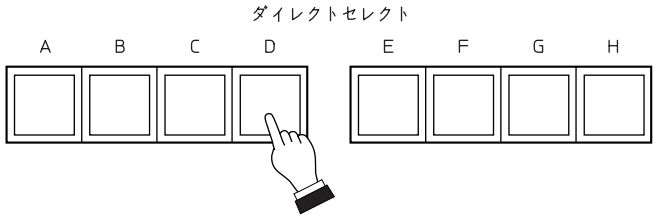
■ ダイレクトセレクトキーで選択する

各モニタに対応する、カメラ番号とポジション番号、またはツアーシーケンス番号（☞ P. 18）などをダイレクトセレクトキー（A～Hの8種類）に登録（☞ 別冊の「マトリクススイッチャ設定説明書」）しておくと、複数のモニタの映像を同時に切り換えることができます。
マトリクススイッチャを4台接続すれば、最大32台のモニタを一斉に制御することができます。

ダイレクトセレクトキー（A～Hのいずれか）を押す。

登録されたモニタの映像が、それぞれ登録されたカメラ・ポジションまたはツアーシーケンスに、一斉に切り換えられます。
液晶画面には現在のモニタの情報（モニタ番号、カメラ番号、およびポジション番号、またはモニタ番号とツアーシーケンス番号）が表示されます。

（例）



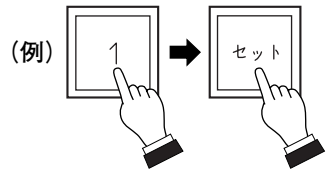
■ 短縮登録を利用して選択する

ダイレクトセレクトと同様の機能を、あらかじめ登録（☞ 別冊の「マトリクススイッチャ設定説明書」）しておいた番号の入力とセットキーで短縮操作できます。1～99の最大99個を設定できます。

テンキーで短縮番号を押した後、セットキーを押す。

登録されたモニタの映像が、それぞれ登録されたカメラ・ポジションまたはツアーシーケンスに、一斉に切り換えられます。
液晶画面には現在のモニタの情報が表示されます。

（例）

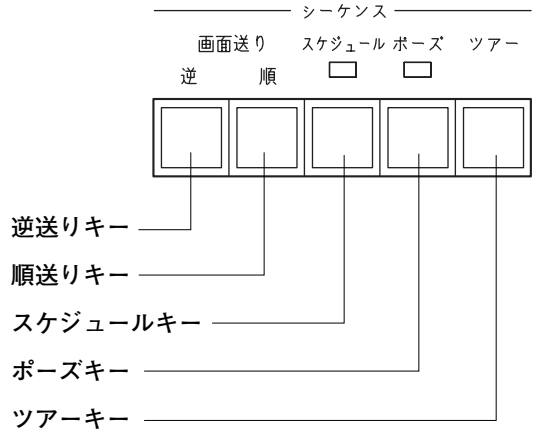


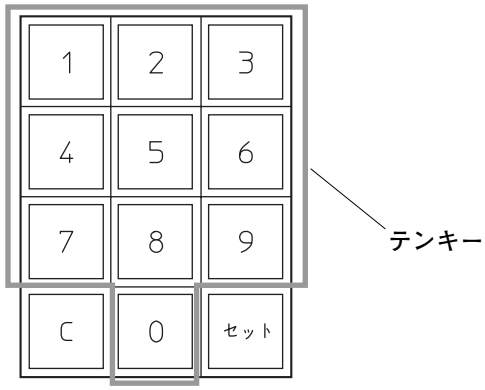
シーケンス画面表示で映像を見る

シーケンス機能*1には、ツアーシーケンス*2、テストシーケンス*3、アラームシーケンス*4の3種類があります。
シーケンス画面を表示しているときは、コントロール可能なカメラが表示されていても、コントロール表示灯は消灯しています。また、ポジション選択・順送り・逆送りキーおよびカメラを操作するキー（ ☞ P. 22）は無効となります。

*1 シーケンス　　：接続されているカメラの映像を、一定間隔で次々とモニタに表示させる機能
*2 ツアーシーケンス　：接続されているカメラの映像を、あらかじめ設定された順序と表示時間で次々とモニタに表示させる機能
*3 テストシーケンス　：接続されているカメラの映像を、カメラ番号の小さい順番に1秒ごとに切り換えてモニタに表示させる機能
*4 アラームシーケンス：複数のアラーム入力があったときに、各アラーム入力ごとにあらかじめ設定されたカメラの映像をアラーム入力順に次々とモニタに表示させる機能

[操作に使用するキー]

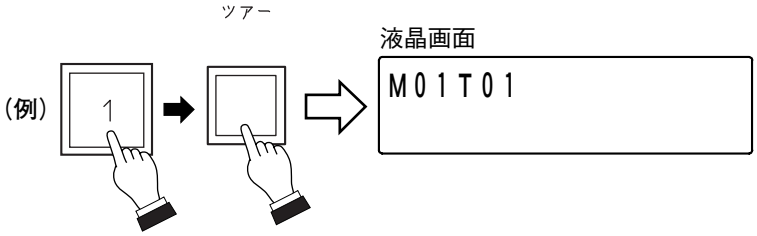




■ ツアーシーケンスを動作させる

マトリクススイッチャにシーケンスの動作をあらかじめ登録（ ☞ 別冊の「マトリクススイッチャ設定説明書」）しておくことができます。これをツアーシーケンスと呼びます。

テンキーで、動作させたいツアーシーケンス番号を押した後、ツアーキーを押す。
現在のモニタに、登録されたシーケンスパターンでシーケンス画面が表示されます。

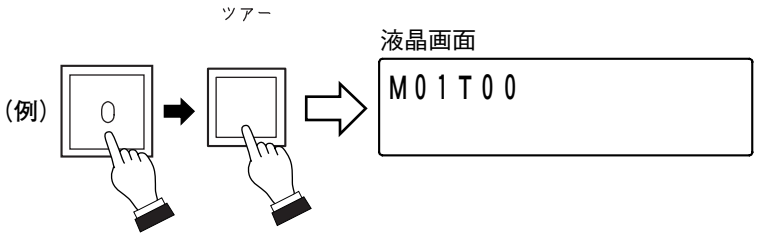


■ テストシーケンスを動作させる

カメラ番号の小さい順番に映像を切り換えていくシーケンスモードを、テストシーケンスと呼びます。
マトリクススイッチャで動作を設定されていないときは、電源を入れるとすべてのモニタがテストシーケンスの動作をします。設置・接続時のチェックなどに利用すると便利です。

テンキーの「0」を押した後、ツアーキーを押す。

現在のモニタに、カメラ番号の小さい順に、1秒ごとに映像が切り換えられます。ポジションは指定できませんので、そのときのカメラのポジションの映像が表示されます。



■ スケジュールに従った動作に戻す

マニュアル操作を解除してスケジュール*に従った動作に戻すときにスケジュールキーを使用します。
マトリクススイッチャのシーケンス設定で「通常動作」に設定されたツアーシーケンスまたはカメラ選択を動作させることができます。別売の機能拡張ソフトで「スケジュール」を組んでいるときは、そのスケジュールに従ったツアーシーケンスまたはカメラ選択を動作させることができます。
ただし、アラーム入力中のマニュアル操作の後にスケジュールキーを押すと、アラームマニュアル解除（☞ P. 30）となり、アラーム動作に戻ります。
通常動作（または機能拡張ソフトによるスケジュール）中は、スケジュール表示灯が点灯します。（アラーム動作中は消灯しています。）

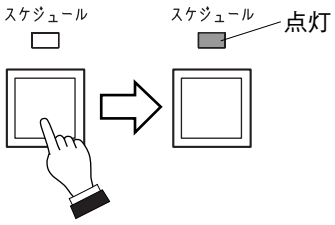
* 通常時（アラーム信号が入力されておらず、リモートコントローラによるマニュアル操作もされていない状態）の動作内容をマトリクススイッチャで設定することができます。
リモートコントローラから設定するときは、シーケンス設定の「通常動作」の項目で設定する動作です。
別売の機能拡張ソフトC-WN168で設定するときは、ツアーシーケンススケジュール設定で、通常パターンと指定時間帯による動作パターンを、各曜日と特定日グループ（5種類）に分けて、「スケジュール」を組むことができます。

● 現在のモニタをスケジュールに従った動作に戻す

スケジュールキーを押す。

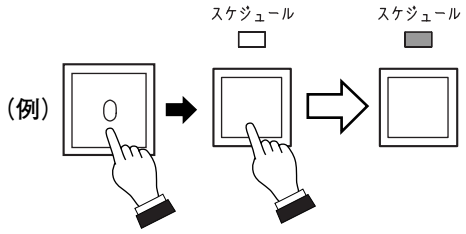
スケジュール表示灯が点灯し、現在のモニタのマニュアル操作が解除されて、通常動作（または別売の機能拡張ソフトによるスケジュール）に戻ります。

ただし、アラーム入力中のときは、スケジュール表示灯は消灯したまま、アラーム動作に戻ります。



● 担当のモニタ*をスケジュールに従った動作に戻す

数字キーの「0」を押した後、スケジュールキーを押す。
スケジュール表示灯が点灯し、担当のモニタすべてのマニュアル操作が解除されて、通常動作（別売の機能拡張ソフトによるスケジュール）に戻ります。ただし現在のモニタがアラーム入力中のときは、スケジュール表示灯は消灯したまま、アラーム動作に戻ります。

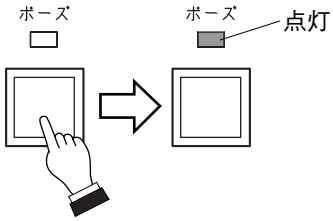


* リモートコントローラで受け持っている（リモコン・モニタ制限で設定されている）モニタ

■ シーケンスを一時停止させる

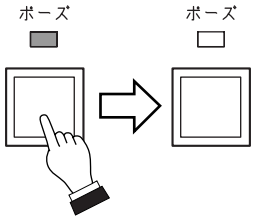
● シーケンスを一時停止させる

シーケンス中に、ポーズキーを押す。
ポーズ表示灯が点灯し、キーを押したときの画面でシーケンスが一時停止します。



● シーケンスを再開させる

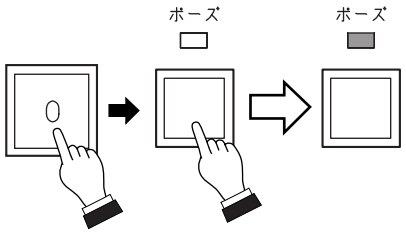
シーケンス一時停止中に、ポーズキーを押す。
ポーズ表示灯が消灯し、シーケンスが再開されます。



● 担当のモニタ*すべてのシーケンスを一時停止または再開させる

数字キーの「0」を押した後、ポーズキーを押す。
担当のモニタのシーケンス画面表示の状態により、動作が異なります。

- 担当のモニタすべてがシーケンス画面表示をしているときは、すべてがシーケンスを一時停止します。
- 担当のモニタのうち1台以上がシーケンス画面表示を一時停止しているときは、すべてがシーケンスを再開します。

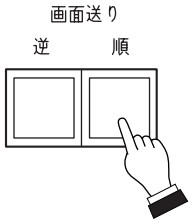


* リモートコントローラで受け持っている（リモコン・モニタ制限で設定されている）モニタ

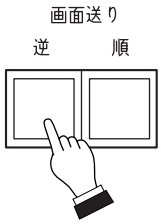
■ シーケンス一時停止中の画面送り

シーケンスが一時停止されている状態（ポーズ表示灯が点灯）で、順送り・逆送りキーを押すと、シーケンスが設定されている順序で、1つずつ後または前の画面に送ることができます。アラーム時はアラームシーケンスで順・逆送りできます。
シーケンスの設定を確認したいとき、シーケンス時間をマニュアルで制御したいときなどに便利です。

1つ後の画面に送りたいときは、順送りキーを押す。



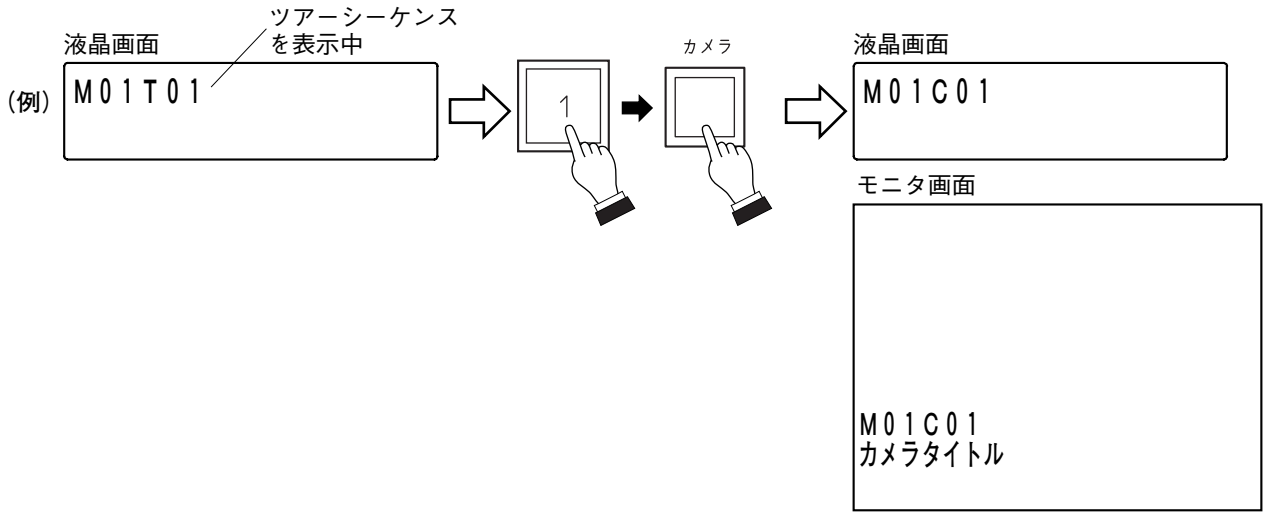
1つ前の画面に戻したいときは、逆送りキーを押す。



■ シーケンスを停止させて固定画面にする

シーケンスを停止させて固定画面にしたいときは、カメラ選択の状態にします。

テンキーでカメラ番号を押した後、カメラ選択キーを押す。
シーケンスが停止し、現在のモニタに、選択したカメラの映像が表示されます。
コントロール可能なカメラを選択したときは、コントロール表示灯が点灯し、カメラを操作できるようになります。

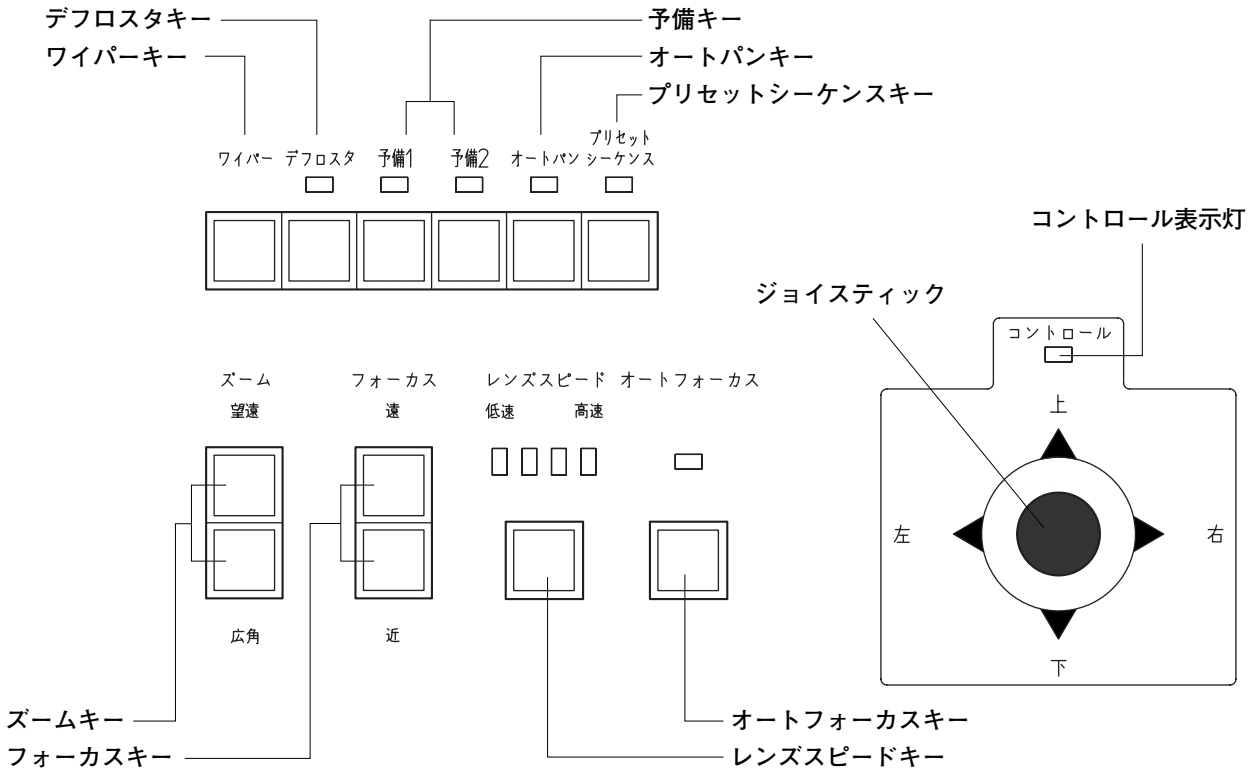


※ ダイレクトセレクトキーまたは短縮登録によるモニタ、カメラ、ポジションの選択（ ☞ P. 17）の操作を行っても、上記と同様にシーケンスを停止させて、カメラを操作することができます。

カメラを操作する

コントロール表示灯が点灯しているときに、現在のカメラを操作できます。

［操作に使用するキー］



■ ジョイスティックでカメラを旋回させる

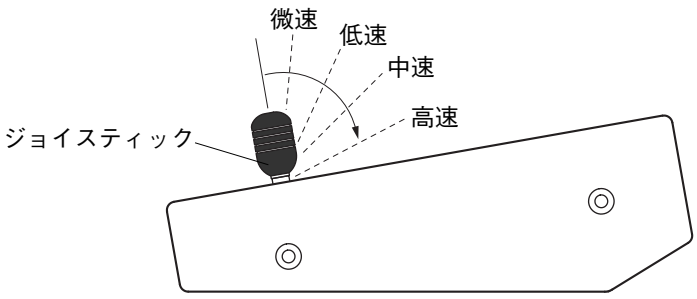
システムに旋回可能なカメラが接続されているとき、ジョイスティックで任意の方向に旋回させることができます。

モニタ、カメラを選択した状態で、カメラを旋回させたい方向にジョイスティックを倒す。

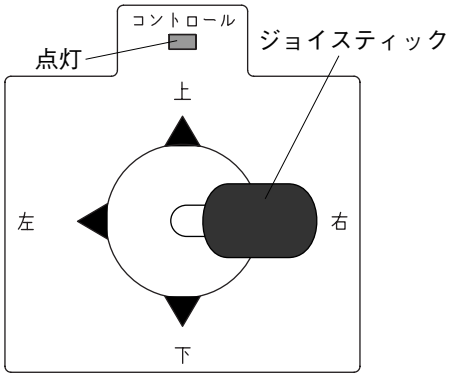
ジョイスティックを倒した方向へカメラが旋回します。

メ　モ

旋回速度は、ジョイスティックを倒す角度によって、4段階（微速・低速・中速・高速）あり、大きく倒せば速くなります。



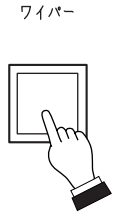
（例）カメラを右に旋回させたいとき



■ ワイパーを動作させる

システムに、ワイパーを内蔵したハウジングを使用したカメラが接続されているとき、ワイパーキーでワイパーを動作させることができます。

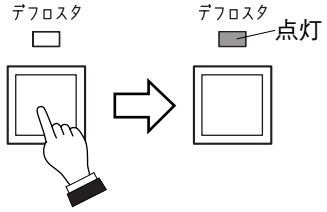
モニタ、カメラを選択した状態で、ワイパーキーを押す。
キーを押している間、ハウジングに内蔵されているワイパーが動作します。



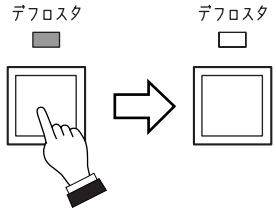
■ デフロスタを動作させる

システムに、デフロスタ（結露除去用の熱線）を内蔵したハウジングを使用したカメラが接続されているとき、デフロスタキーでデフロスタを操作させることができます。

1 **モニタ、カメラを選択した状態で、デフロスタキーを押す。**
デフロスタ表示灯が点灯し、ハウジング内部のデフロスタが動作します。



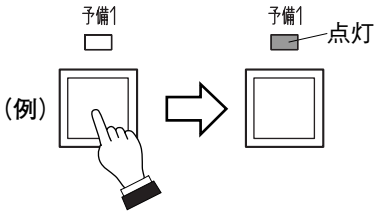
2 **もう一度、デフロスタキーを押す。**
デフロスタ表示灯が消灯し、デフロスタが停止します。



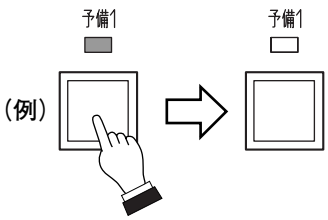
■ 予備接点を制御する

システムに、照明の ON/OFF などの予備接点機能付きの屋外旋回台を搭載したカメラが接続されているとき、予備キーで予備接点をメイクまたはブレイクさせることができます。

1 **モニタ、カメラを選択した状態で、予備（1 または 2）キーを押す。**
予備（1 または 2）表示灯が点灯し、予備接点がメイク（ON）されます。

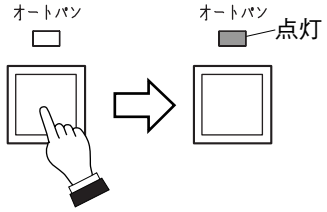


2 **もう一度、予備（1 または 2）キーを押す。**
予備（1 または 2）表示灯が消灯し、予備接点がブレイク（OFF）されます。



■ オートパン機能を動作させる

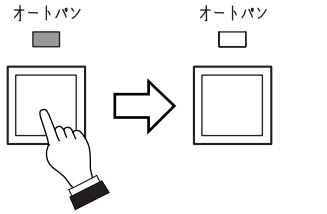
システムにオートパン機能を備えたカメラが接続されているとき、オートパンキーでオートパン機能を動作させることができます。



1 **モニタ、カメラを選択した状態で、オートパンキーを押す。**
オートパン表示灯が点灯し、あらかじめ設定された2点間をカメラがパンします。パンする2点は、マトリクススイッチャで設定された限界点です。

ご注意

カメラの種類、設定により、プリセットシーケンス（次項参照）やトレース機能（あらかじめ記憶させておいた動作でカメラが2点間を移動する）が起動されることがあります。



2 **もう一度、オートパンキーを押す。**
オートパン表示灯が消灯し、オートパン動作が停止します。

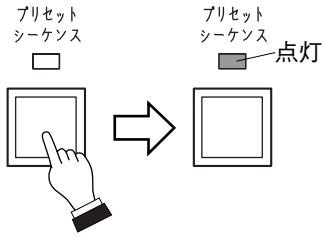
■ プリセットシーケンス機能を動作させる

プリセットシーケンス機能とは、1台のカメラでいくつかのポジション（向き）をあらかじめプリセット番号に登録しておき、そのカメラをプリセット番号順に動かす機能です。この機能を備えたカメラを接続しているとき、プリセットシーケンスキーで作動させることができます。

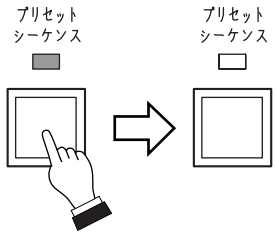
ご注意

シーケンスキーで制御する機能とは異なります。現在のカメラだけを操作することができます。ポーズ・順送り・逆送りキーによる操作は、プリセットシーケンスでは使用できません。
コンビネーションカメラでもC-CC51HS、C-CC51P8はこの機能を使用できません。

1 **モニタ、カメラを選択した状態で、プリセットシーケンスキーを押す。**
プリセットシーケンス表示灯が点灯し、あらかじめ設定されたプリセット番号順にカメラのポジションが移動します。
各ポジションの映像は、そのカメラのカメラメニューで設定された表示時間で切り換わります。



2 **もう一度、プリセットシーケンスキーを押す。**
プリセットシーケンス表示灯が消灯し、プリセットシーケンス動作が停止します。

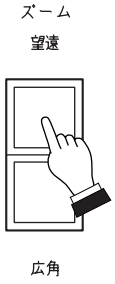


■ ズーム機能を動作させる

ズーム機能を備えたカメラを接続しているとき、ズームキーでズームレンズを動作させることができます。

モニタ、カメラを選択した状態で、ズーム（「望遠」または「広角」）キーを押す。
キーを押している間、ズームし続けます。

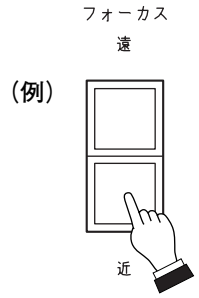
（例）



■ フォーカス機能を動作させる

フォーカス機能を遠隔操作できるカメラを接続しているとき、フォーカスキーで焦点を合わせることができます。

モニタ、カメラを選択した状態で、フォーカス（「遠」または「近」）キーを押す。
キーを押している間、動作します。

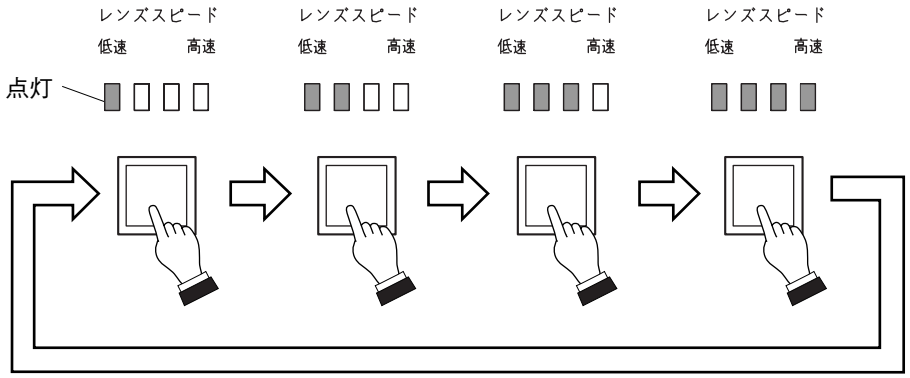


■ レンズスピードを変える

ズームキー、フォーカスキーを押したときのレンズスピードを４段階（微速、低速、中速、高速）で調節することができます。

1 **モニタ、カメラを選択した状態で、レンズスピードキーを押す。**
レンズスピード表示灯が１つ追加点灯され、レンズスピードが１段階上がります。（高速のときに押すと、微速に戻ります。）

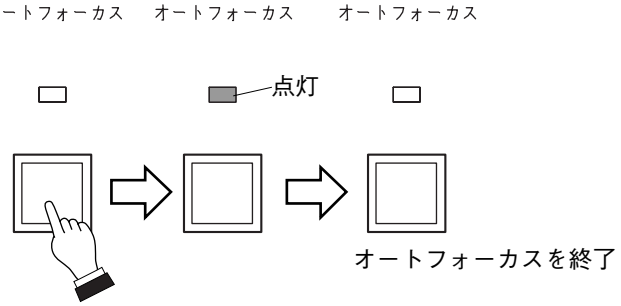
2 **設定したいスピードになるまで、手順1 を繰り返す。**



■ オートフォーカス機能を動作させる

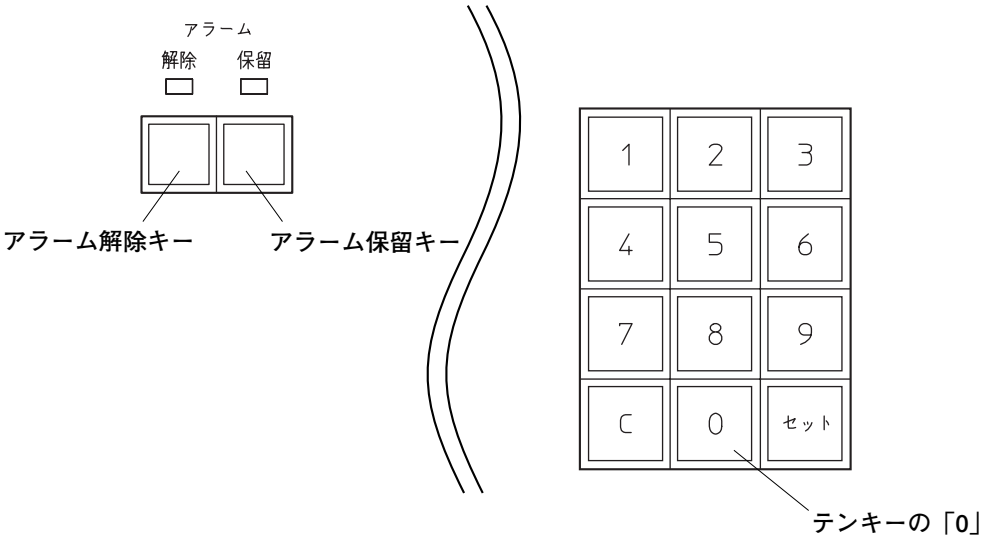
オートフォーカス機能を備えたカメラを接続しているとき、オートフォーカスキーでオートフォーカス機能を動作させることができます。

モニタ、カメラを選択した状態で、オートフォーカスキーを押す。
自動的にフォーカスを合わせて終了します。
起動してから終了するまで、表示灯が点灯します。



アラームの解除と保留

［操作に使用するキー］



■ アラームを解除する

ご注意

アラーム入力のタイプを「レベル」と設定されたアラームは、リモートコントローラでは解除できません。「レベル」に設定されたアラームを解除しようとアラーム解除キーを押すと、液晶画面に右図のように表示されます。

アラームミカイジ゛ョ

メ　モ

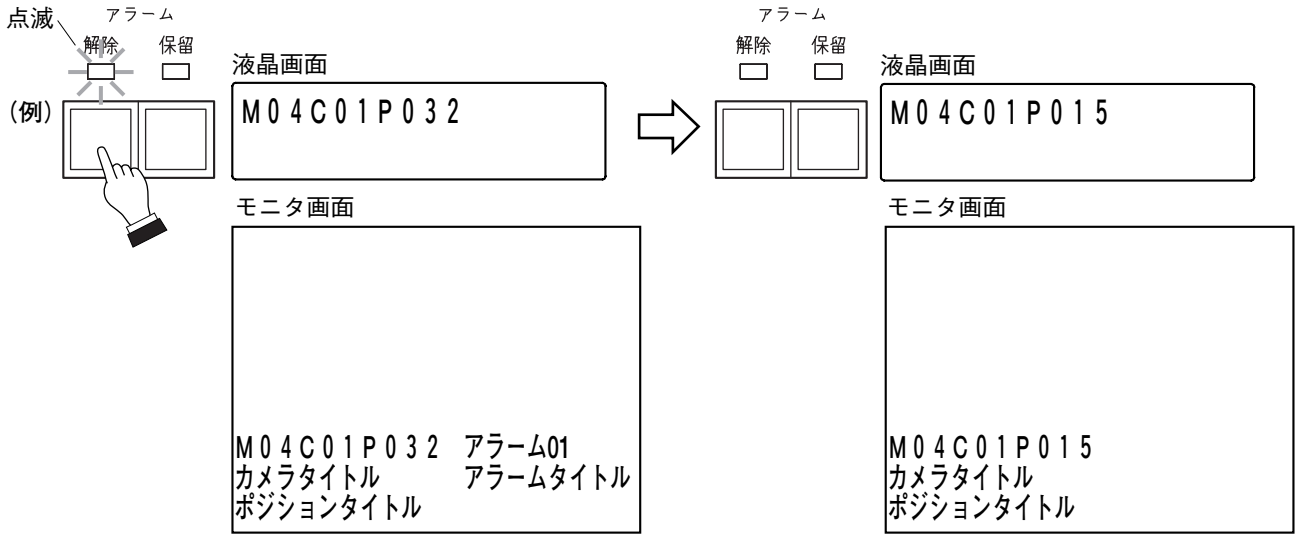
- アラーム保留中でもアラームを解除することができます。
- 複数のリモートコントローラが同じモニタを選択しているときは、1台のリモートコントローラでアラームが解除されると、操作していない機器にも反映されます。

● 現在のモニタに表示されているアラームを解除する

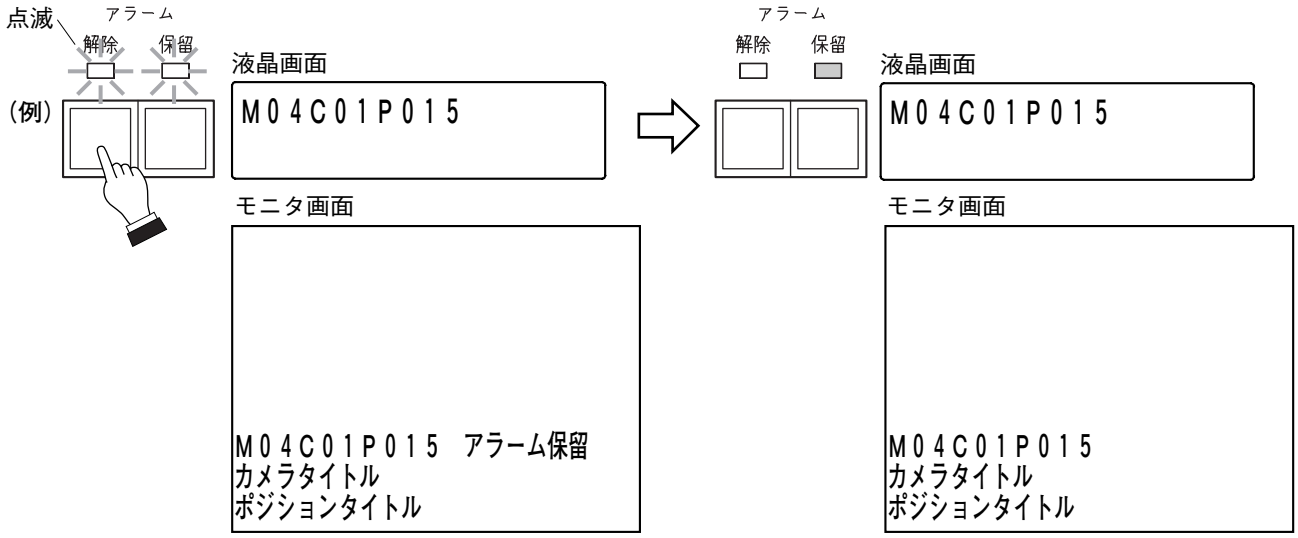
現在のモニタがアラーム状態になると、アラーム解除表示灯が点滅します。

アラーム解除表示灯が点滅しているときに、アラーム解除キーを押す。

現在のモニタに表示されているアラームが解除され、マトリクススイッチャの「通常動作」（または別売の機能拡張ソフトのスケジュール）で設定された状態に戻ります。



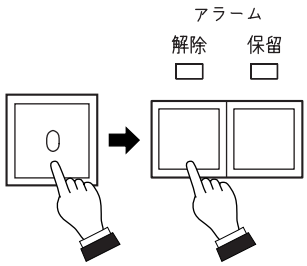
アラームが保留されているときは、アラーム信号が入力されると、アラーム解除表示灯とアラーム保留表示灯が点滅します。このときにアラーム解除キーを押すと、保留されているアラームが解除され、アラーム状態になりません。（アラーム保留状態は継続されます。）



● 担当のモニタ*に表示されているアラームを一斉に解除する

担当のモニタにアラーム信号が入力されているときに、テンキーの「0」を押した後、アラーム解除キーを押す。

担当のモニタに表示されているアラームが一斉に解除され、マトリクススイッチャの「通常動作」（または別売の機能拡張ソフトのスケジュール）で設定された状態に戻ります。



* リモートコントローラで受け持っている（リモコン・モニタ制限で設定されている）モニタ

■ アラームを保留する

アラーム信号が入力されてもアラーム映像に切り換えたくないときに、アラームの信号を保留することができます。マニュアル操作が中断されたくないときなどに、あらかじめ保留しておくと便利です。
また、アラーム状態のときにも保留して、マトリクススイッチャで設定された通常動作（または別売の機能拡張ソフトによるスケジュール）に戻すことができます。

ご注意

- アラーム保留中に「非常 AL」モードのアラーム信号が入力されると、強制的にアラーム保留が解除されます。
- ただし、アラーム入力中であれば、「通常 AL」、「非常 AL」ともに保留できます。
- マニュアル操作中に、すなわち通常動作以外のときに「通常 AL」モードのアラーム信号が入力されると、自動的にアラーム保留になります。

メ　モ

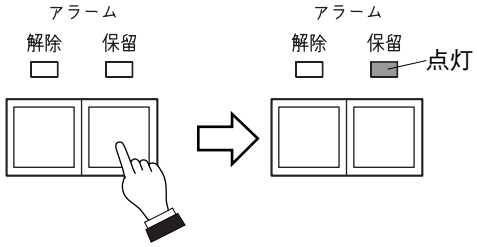
複数のリモートコントローラが同じモニタを選択しているとき、アラーム保留キーの操作は後押し優先になり、操作していない機器にも反映されます。

● 現在のモニタのアラームを保留する

1 アラーム保留キーを押す。

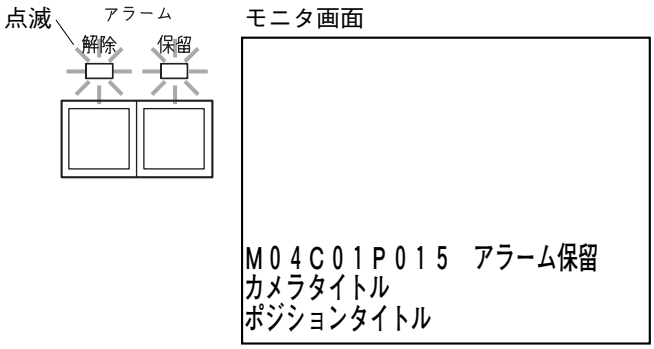
[通常動作中にキーを押した場合]

アラーム保留表示灯が点灯します。



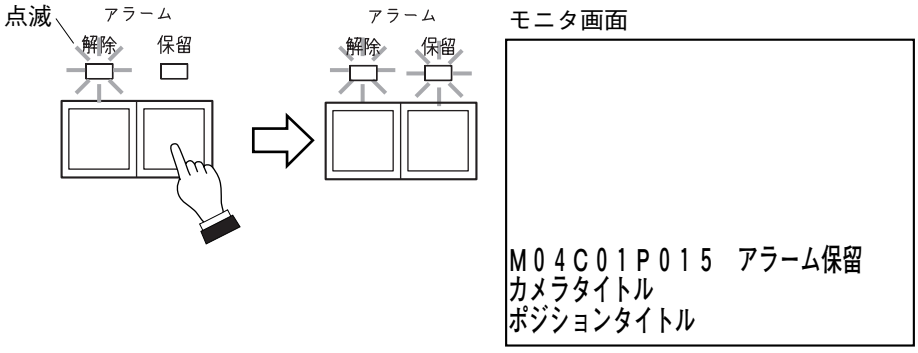
メ　モ

保留中に「通常 AL」モードのアラーム信号が新たに入力されると、アラーム解除表示灯とアラーム保留表示灯が点滅するとともに、現在のモニタに「アラーム保留」の文字が表示されます。



[アラーム入力中にキーを押した場合]

アラーム保留表示灯が点滅します。現在のモニタがアラーム状態から通常動作の画面に変わり、「アラーム保留」の文字が表示されます。

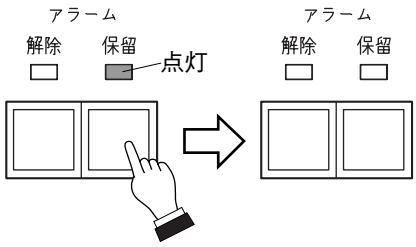


メ　モ

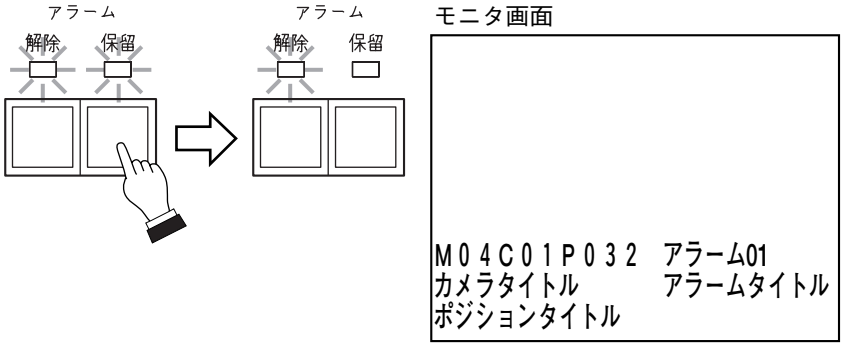
- 保留しているアラームが「非常 AL」のときに、「非常 AL」モードに設定されたアラーム信号が新たに入力されると、アラーム保留は解除され、マトリクススイッチャで設定された複数アラームの動作になります。「通常 AL」モードに設定されたアラーム信号が新たに入力されても、「非常 AL」より優先度が低いので、反映されません。
- 保留しているアラームが「通常 AL」のときに、「非常 AL」モードに設定されたアラーム信号が新たに入力されると、アラーム保留は解除され、「非常 AL」のアラーム動作に変わります。

2 **もう一度、アラーム保留キーを押す。**

アラーム保留が解除され、アラーム保留表示灯が消灯します。



保留されているアラームがあるときは、アラーム保留が解除されると、保留されていたアラームの映像がモニタに表示されます。

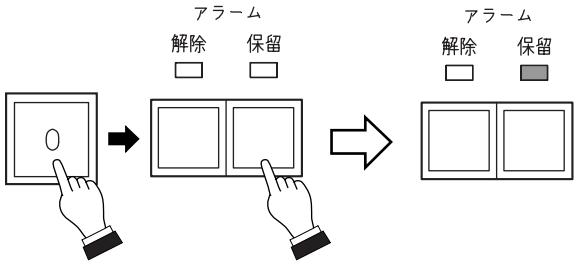


● 担当のモニタ*のアラームをすべて保留する

1 **テンキーの「0」を押した後、アラーム保留キーを押す。**

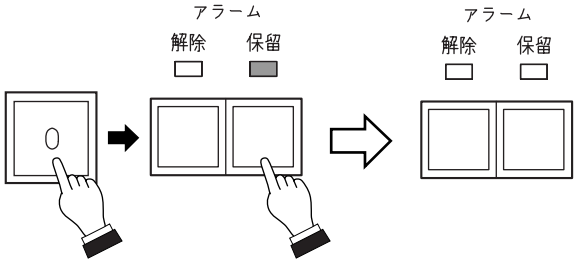
担当のモニタすべてがアラーム保留状態（参考：前ページ）になります。

アラーム保留表示灯とアラーム解除表示灯とアラーム保留表示灯の状態は、現在のモニタの状態が通常動作中かアラーム入力中かにより異なります。（☞ 前ページ）



2 **もう一度、テンキーの「0」を押した後、アラーム保留キーを押す。**

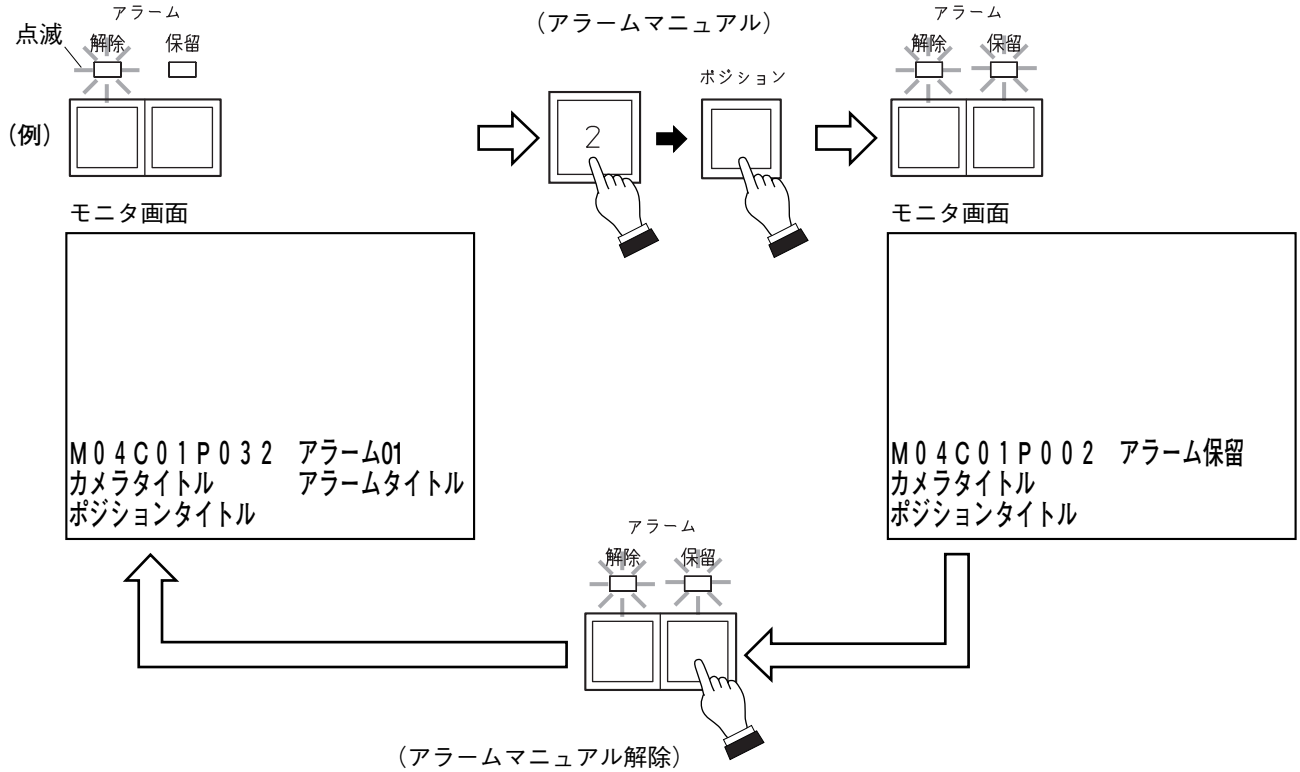
担当のモニタすべてのアラーム保留が解除され、現在のアラーム状態が反映されます。



* リモートコントローラで受け持っている（リモコン・モニタ制限で設定されている）モニタ

■ アラーム入力中のマニュアル操作

アラーム入力中でも、モニタ・カメラ・ポジション選択、旋回台操作などのマニュアル操作をすることができます。これをアラームマニュアルと呼びます。
アラームマニュアルに入った時点で、自動的にアラーム保留となり、アラーム保留表示灯が点滅します。その後、アラーム保留キーを押すことにより、その状態をアラーム状態（現在のアラームの状態）に戻すことができます。
アラームマニュアル中に新たなアラーム信号（モードが「通常 AL」と設定されたアラーム）が入力されたときは、そのアラームは保留され、アラームマニュアルが解除されたときに新しいアラームが反映されます。
アラームマニュアル中でもアラームが入力されている間は、アラーム解除表示灯は点滅します。



ご注意

アラーム入力のモードを「非常 AL」と設定されたアラーム信号が入力されているときもマニュアル操作はできますが、マニュアル操作中に「非常 AL」に設定されたアラーム信号が入力されると、アラーム保留中であっても強制的にアラーム状態に移行します。

メ　モ

アラームマニュアルは、スケジュールキーを押すことでもアラーム状態に戻せます。（☞ P. 19）

複数のマトリクススイッチャを制御する

1台のリモートコントローラで最大4台のマトリクススイッチャを制御することができます。複数のマトリクススイッチャを制御したいとき、マトリクススイッチャ番号を意識するのではなく、モニタ番号で制御できます。
リモートコントローラから制御できる（あらかじめ設定されている）マトリクススイッチャへ操作データが送信され、各機能は、個々のマトリクススイッチャの動作になります。
以下にいくつかの例を示します。

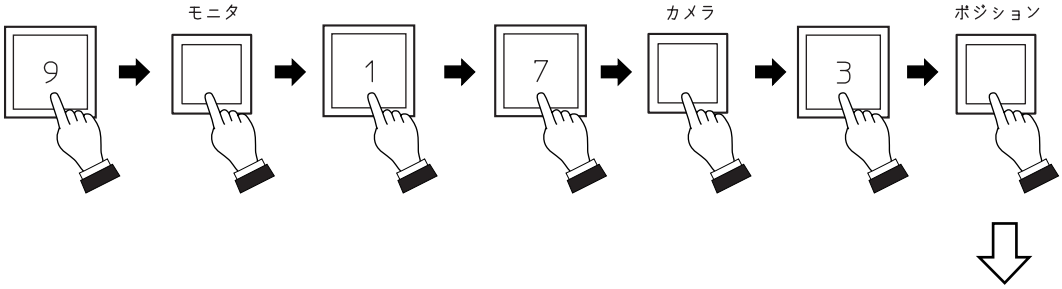
■ テンキーとモニタ・カメラ・ポジション選択キーで選択する

P. 15に示した手順と同じです。モニタ番号、カメラ番号の部分に、2台目以降のマトリクススイッチャに対応する番号を入力すれば、制御できます。

マトリクススイッチャとモニタ、カメラの対応

マトリクススイッチャ番号	モニタ番号	カメラ番号
1	1～8	1～16
2	9～16	17～32
3	17～24	33～48
4	25～32	49～64

（例）2台目のマトリクススイッチャに対して、モニタ、カメラ、ポジションを選択する



液晶画面

M09C17P003

モニタ画面

M09C17P003
カメラタイトル
ポジションタイトル

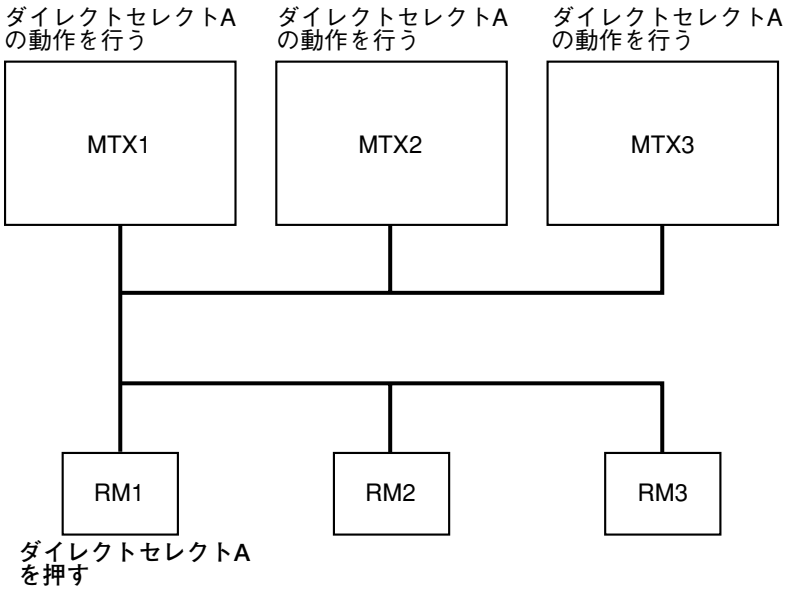
■ ダイレクトセレクトキーまたは短縮登録を利用して選択する

ダイレクトセレクトキーを使用するときの例を以下に示します。短縮登録による選択のときも、ダイレクトセレクトのときと同様です。

● 例1：リモートコントローラ1番で制御できるマトリクススイッチャが1～3番のとき

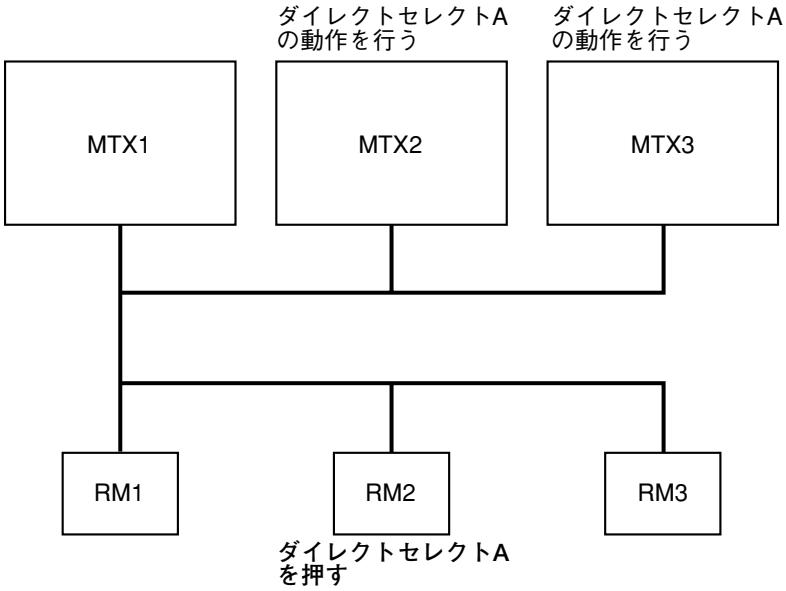
リモートコントローラ1番でダイレクトセレクトキー「A」を押す。
マトリクススイッチャ1、2、3番がそれぞれダイレクトセレクトAの動作を行います。

※ リモートコントローラを「RM」、マトリクススイッチャを「MTX」で表しています。数字は機器番号です。



● 例2：マトリクススイッチャ1番にダイレクトセレクトAを設定せず、マトリクススイッチャ2、3番にダイレクトセレクトAを設定しているとき

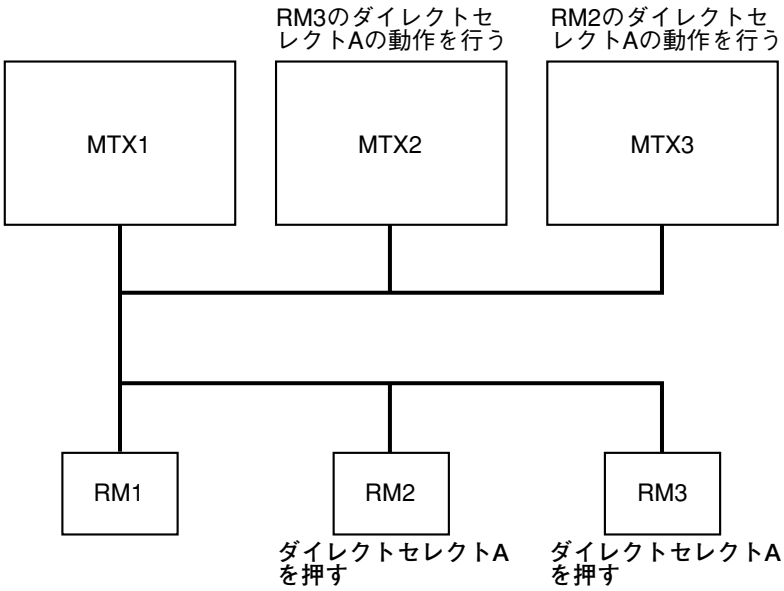
リモートコントローラ2番でダイレクトセレクトキー「A」を押す。
マトリクススイッチャ2、3番がそれぞれダイレクトセレクトAの動作を行います。



● 例3：別売の機能拡張ソフトでリモートコントローラごとに異なる設定をしているとき

別売の機能拡張ソフトを使用すると、リモートコントローラごとに異なる動作をさせることができます。
例えば、マトリクススイッチャ2番にはリモートコントローラ3番のダイレクトセレクトAのみ設定、マトリクススイッチャ3番にはリモートコントローラ2番のダイレクトセレクトAのみ設定されているとき、下記のようになります。

リモートコントローラ2番と3番それぞれでダイレクトセレクトキー「A」を押す。
マトリクススイッチャ2番はリモートコントローラ3番のダイレクトセレクトAの動作を行います。
マトリクススイッチャ3番はリモートコントローラ2番のダイレクトセレクトAの動作を行います。



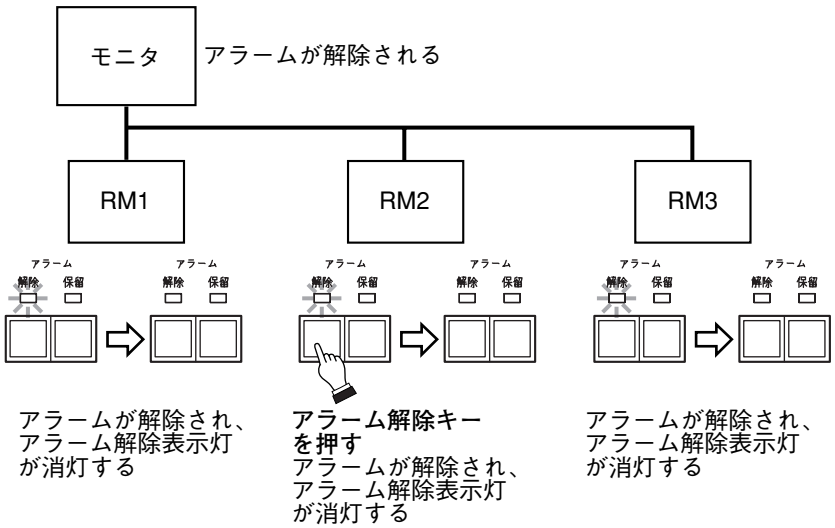
同じモニタを複数の機器から操作する

同じモニタを複数のリモートコントローラから同時に操作しようとすると、それぞれのリモートコントローラにあらかじめ設定された優先度に従って、操作できる機器が決まります。（☞ P. 14「リモートコントローラの優先順序」）
操作された内容は、操作していないリモートコントローラにも反映されます。

（例）アラーム解除キーを押していないのに、モニタがアラーム状態から解除されるとき

1台のリモートコントローラで解除されると、操作していないリモートコントローラにも反映され、アラーム解除表示灯が消灯します。

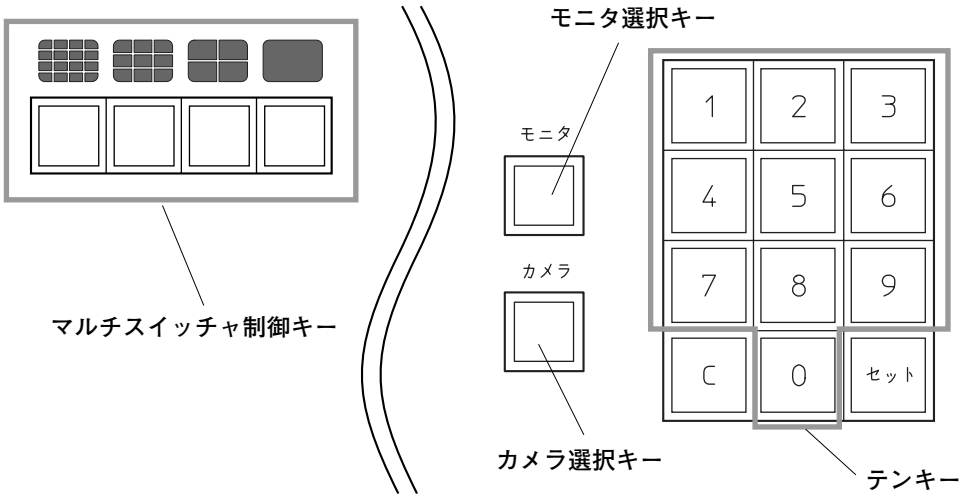
※ アラーム入力のモードを「レベル」と設定されたアラーム信号が入力され、入力側で解除したときは、同時に複数台のリモートコントローラのアラームが解除されます。



マルチスイッチャを制御する

マルチスイッチャ（9、16局）をカメラ番号16に接続することで1、4、9、16画面の分割画面を見ることができます。

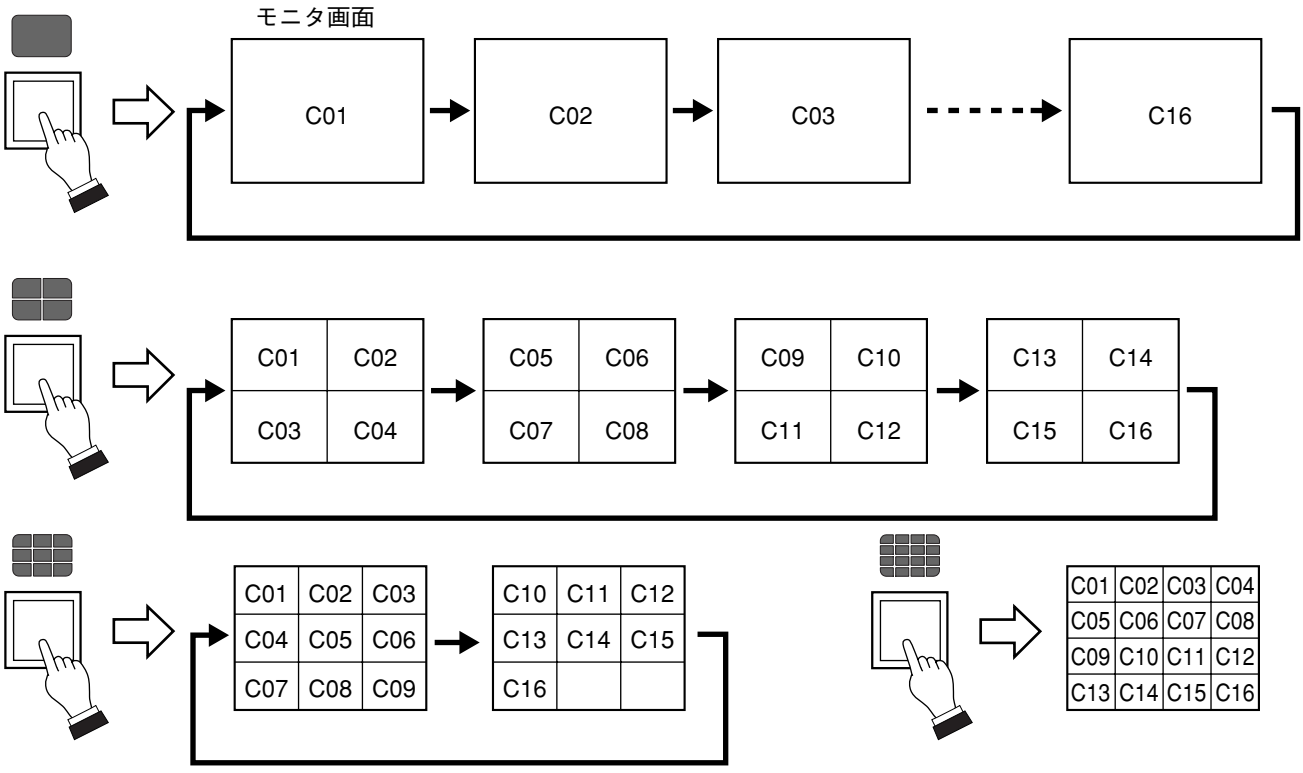
[操作に使用するキー]



■ 多画面表示ですべてのカメラの映像を順次表示させる

マルチスイッチャ制御キーの各キーを押すと、現在のモニタの画面が次のような映像に切り換えられます。

※「C+数字」は、分割画面に表示されるカメラ番号を表しています。



■ 見たいカメラの映像を多画面表示で見る

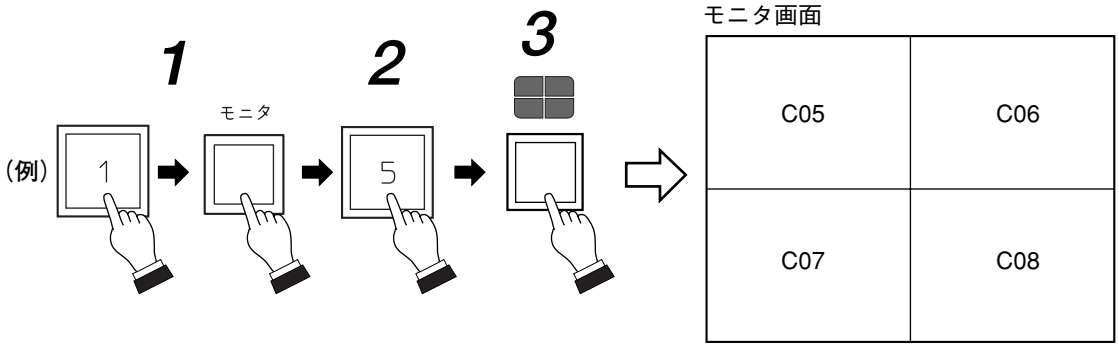
1 テンキーでモニタ番号を押した後、モニタ選択キーを押す。

2 テンキーでカメラ番号を押す。

※ カメラ番号を押した後、カメラ選択キーを押しても構いません。

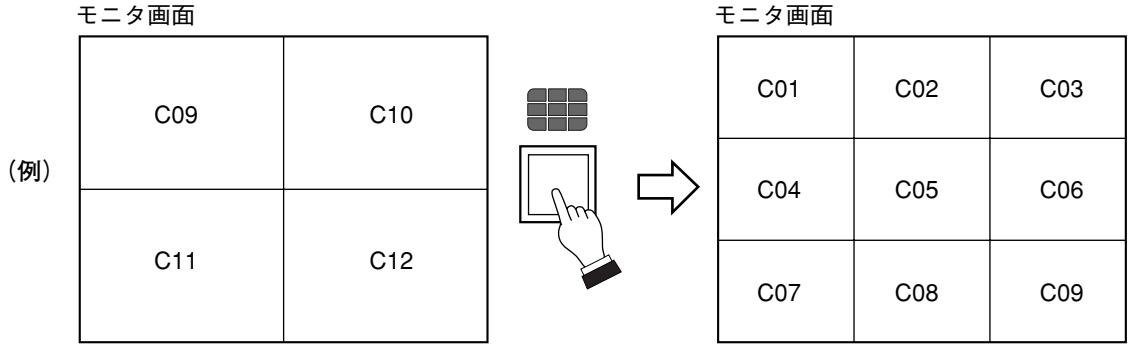
3 マルチスイッチャ制御キー（16分割画面、9分割画面、4分割画面、1画面のうちいずれか）を押す。

選択したモニタに、選択したカメラの映像を含む多分割画面が表示されます。

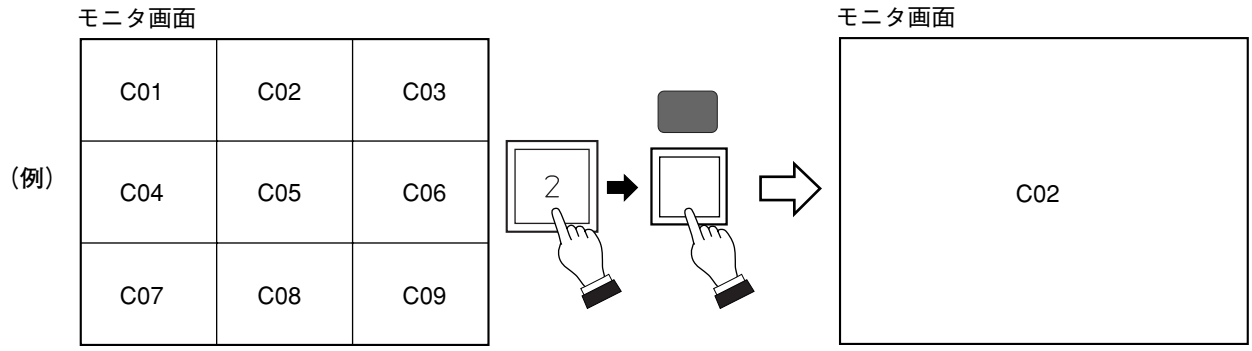


メ　モ

- 分割数の小さい画面から多分割画面に変更するときは、変更したい分割画面を押せば、カメラ番号1の映像を含んだ多分割画面に変更されます。



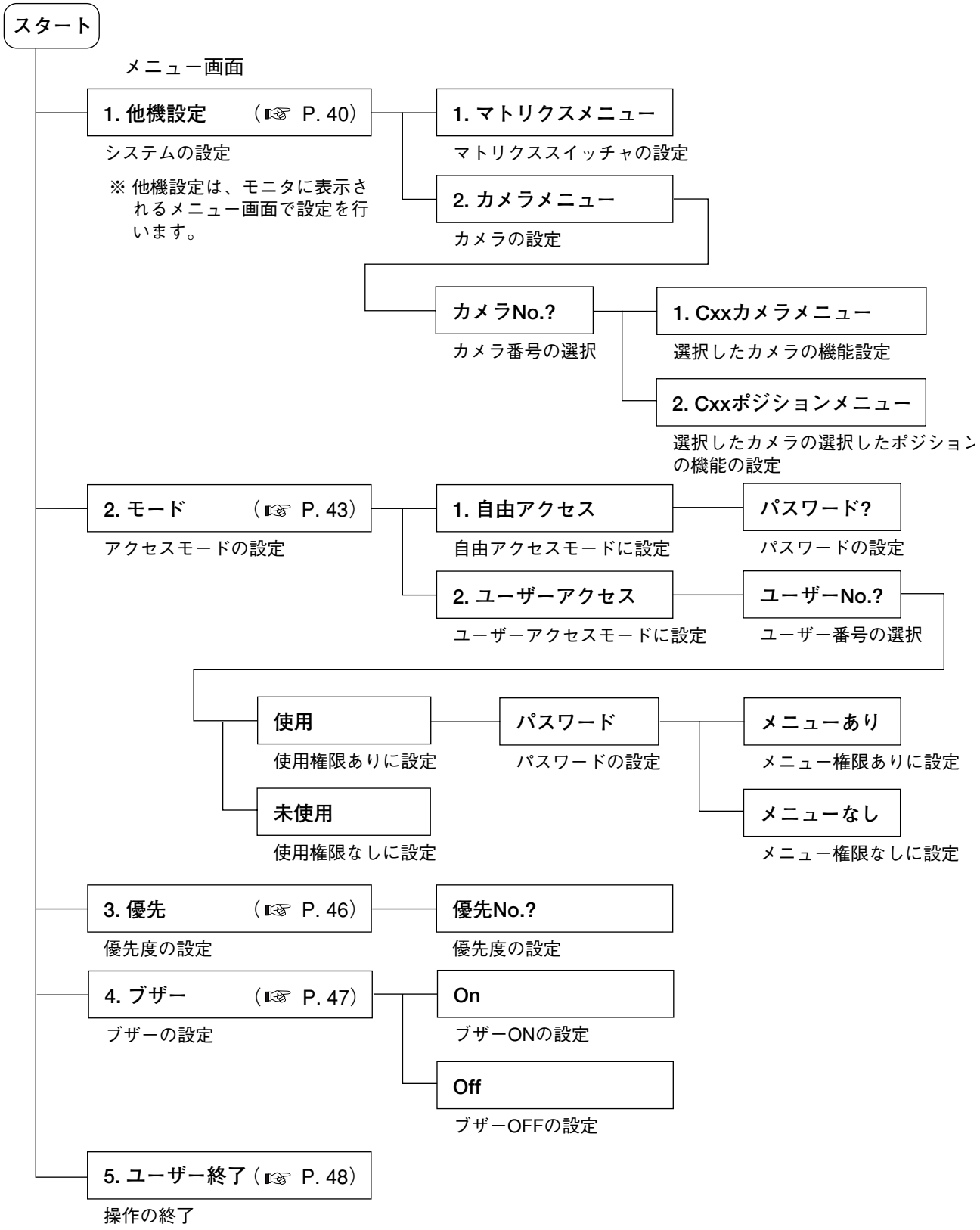
- 多分割画面から分割数の小さい画面に変更するときは、テンキーでカメラ番号を押した後、変更したい分割画面を押せば、その映像を含んだ画面に変更されます。



設定の前に

ここでは、マトリクスリモートコントローラの操作に必要な各種設定を行います。なお、マトリクススイッチャの機能設定については、別冊の「マトリクススイッチャ設定説明書」をお読みください。

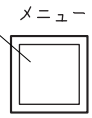
■ 設定項目の一覧



■ 設定に使用するキー

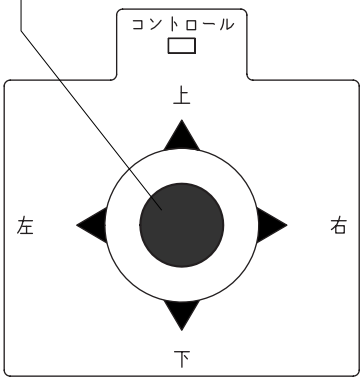
メニューキー

メニュー画面に入るときと終了するときに使用します。
メニュー画面表示中に設定作業の途中でこのキーを押すと、そのとき作業途中の項目は設定されず、元の設定のままとなります。



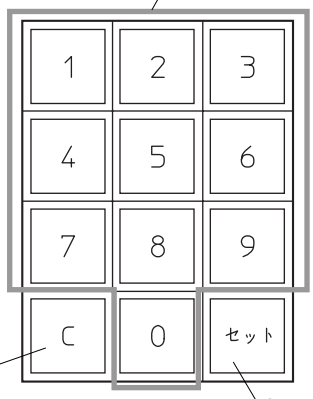
ジョイスティック

設定項目や設定内容の次や前に移るのに使用します。下へ倒すと次へ、上へ倒すと前へ移ります。



テンキー

数値を入力するときに使用します。



クリアキー

設定中に数字を誤って入力したときに押します。

セットキー

設定内容を決定するときに押します。

■ メニュー画面に入る

アクセスモードによって、メニュー画面への入りかたが異なります。
工場出荷時は、自由アクセスモードでパスワードなしに設定されています。

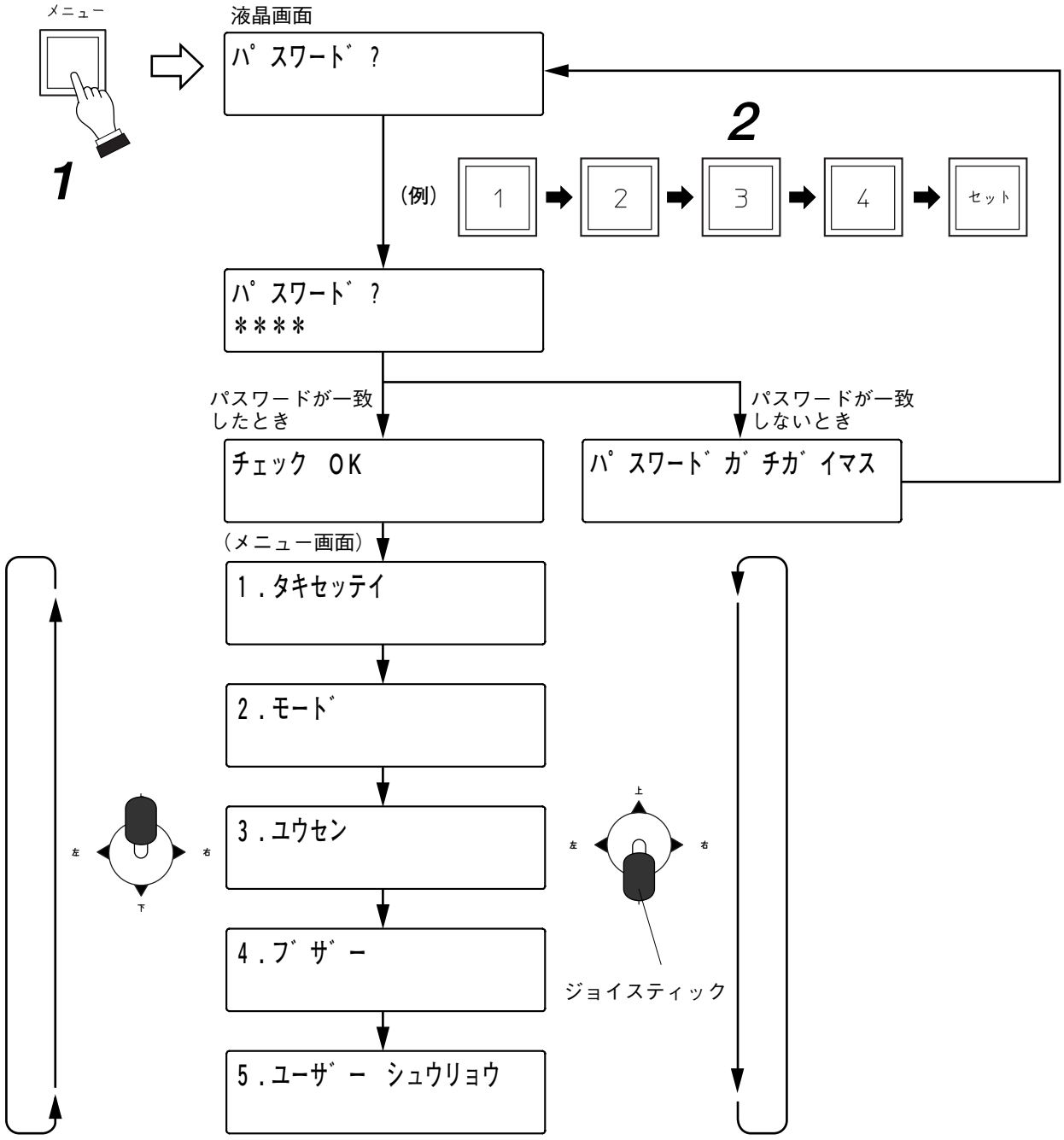
● 自由アクセスモードのとき

1 **メニューキーを1秒以上押す。**

1秒後に、液晶画面がパスワードの画面に変わります。

2 **テンキーでパスワード（4桁までの任意の数字）を押した後、セットキーを押す。（パスワードなしのときはセットキーのみを押す。）**

パスワードが一致すれば液晶画面に「チェック　OK」と表示され、1秒後にメニュー画面が表示されます。メニュー画面の項目の移動はジョイスティックの上下で行います。



● ユーザーアクセスモードのとき

1 **テンキーでユーザー番号（1～10）を押した後、セットキーを押す。**

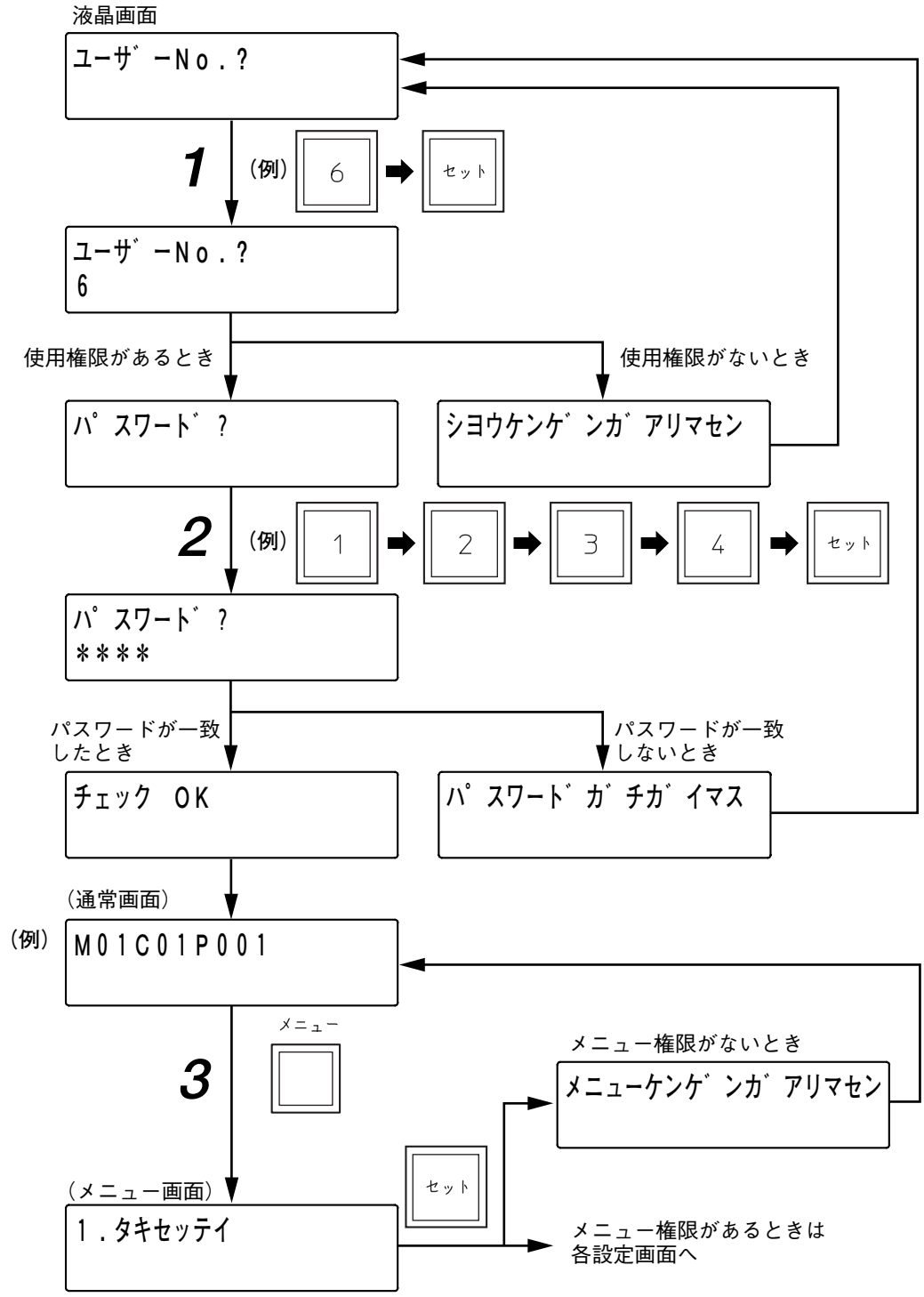
使用権限があれば液晶画面がパスワードの画面に変わります。

2 **テンキーでパスワード（4桁までの任意の数字）を押した後、セットキーを押す。（パスワードなしのときはセットキーのみを押す。）**

パスワードが一致すれば液晶画面に「チェック　OK」と表示され、1秒後に液晶画面が通常画面に変わります。

3 **メニューキーを1秒以上押す。**

1秒後にメニュー画面が表示されます。メニュー画面の項目の移動はジョイスティックの上下で行います。メニュー権限がなければ、「1. タキセッテイ」「2. モード」「3. ユウセン」「4. ブザー」の項目でセットキーを押しても、液晶画面に「メニューケンゲンガアリマセン」と表示され、1秒後に通常画面に戻ります。



ご注意

ユーザーアクセスモードのときは、ユーザー番号ごとに使用権限とメニュー権限が設定されています。リモートコントローラの使用権限があっても、メニュー権限がなければ、各設定画面に入ることはできません。

システムを設定する

■ マトリクススイッチャの設定をする

マトリクススイッチャの設定は、任意のリモートコントローラ1台のみまたはパソコン（別売の機能拡張ソフトが必要）からできます。リモートコントローラで設定中にパソコンから設定した場合、パソコンでの設定が優先されます。
ここでは、マトリクススイッチャの設定をするためのメニュー画面をモニタに表示させるまでの手順を説明します。マトリクススイッチャの設定の詳細は、別冊の「マトリクススイッチャ設定説明書」をお読みください。

1 **メニュー画面「1. タキセッテイ」で、セットキーを押す。**

液晶画面に「1. マトリクス　メニュー」と表示されます。

2 **セットキーを押す。**

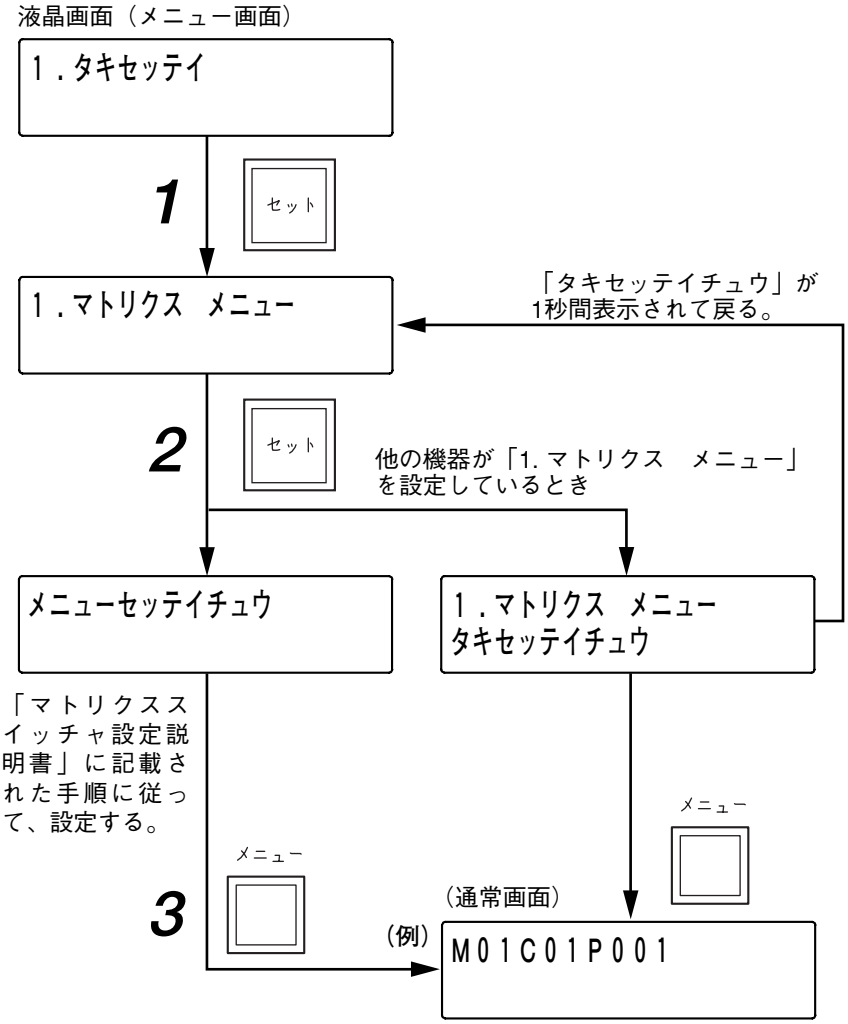
現在のモニタがマトリクススイッチャのメニュー画面に変わるとともに、液晶画面には「メニューセッテイチュウ」と表示されて、マトリクススイッチャの設定をできるようになります。他のすべてのモニタには「セッテイ中」と表示されます。

ご注意

他のリモートコントローラ（またはパソコン）が「1. マトリクスメニュー」を設定しているときは、そのマトリクススイッチャに対して操作をしようとすると、液晶画面に「タキセッテイチュウ」と1秒間表示され、その設定が終了するまで、操作をすることはできません。
このときは、他機の設定が終了するまで待ってもう一度セットキーを押すか、メニューキーを押してリモートコントローラのメニュー画面を終了させてください。

3 **設定が終了したら、メニューキーを押す。**

メニュー画面が終了し、通常画面に戻ります。



■ カメラの設定をする

カメラメニュー、ポジションメニューを設定できるカメラを接続している場合は、リモートコントローラからその設定をすることができます。同じカメラの設定をできるリモートコントローラは任意の1台だけです。ここでは、カメラの設定をするためのメニュー画面をモニタに表示させるまでの手順を説明します。カメラの設定の詳細は、カメラに付属の「設定マニュアル」をお読みください。

● カメラメニューを設定する

1 **メニュー画面「1. タキセッテイ」で、セットキーを押す。**

液晶画面に「1. マトリクス　メニュー」と表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒す。**

液晶画面に「2. カメラ　メニュー」と表示されます。

3 **セットキーを押す。**

液晶画面に「カメラNo.?」と表示されます。

4 **テンキーでカメラ番号を入力し、セットキーを押す。**

液晶画面には「1. Cxx カメラメニュー」と表示されます。

5 **セットキーを押す。**

現在のモニタが指定されたカメラの映像に切り換わるとともに、カメラのメニュー画面が表示され、カメラの機能設定をできるようになります。

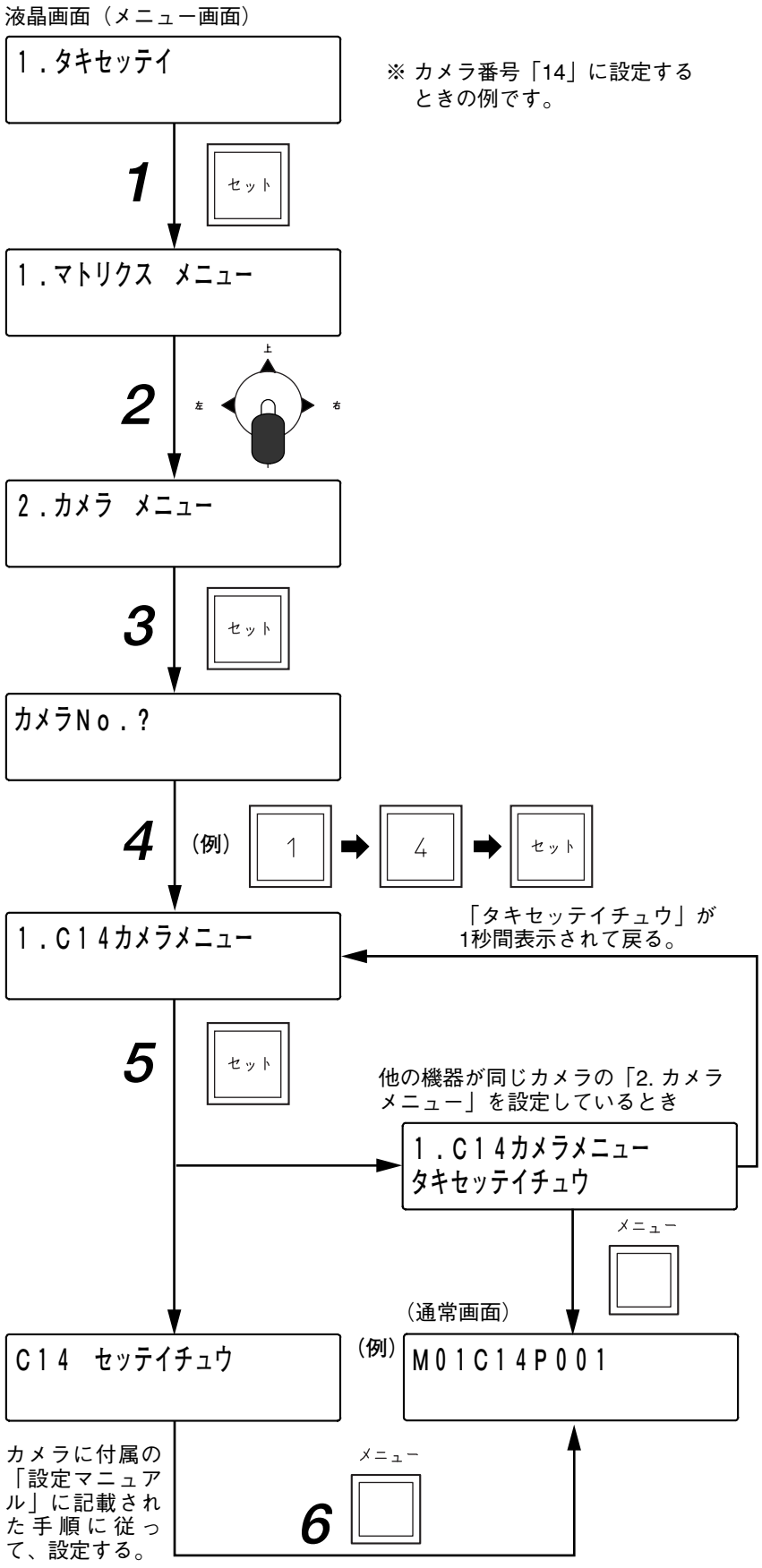
ご注意

他のリモートコントローラが同じカメラの「2. カメラ　メニュー」を設定しているときは、液晶画面に「タキセッテイチュウ」と表示され、その操作が終了するまで、設定をすることはできません。

このときは、他機の設定が終了するまで待ってもう一度セットキーを押すか、メニューキーを押してリモートコントローラのメニュー画面を終了させてください。

6 **設定が終了したら、メニューキーを押す。**

メニュー画面が終了し、通常画面に戻ります。



● ポジションメニューを設定する

※ 手順1～4までは前ページのカメラメニューを設定するときの手順1～4と同じです。

1 メニュー画面「1. タキセッテイ」で、セットキーを押す。
液晶画面に「1. マトリクス　メニュー」と表示されます。

2 ジョイスティックを下に倒す。
液晶画面に「2. カメラ　メニュー」と表示されます。

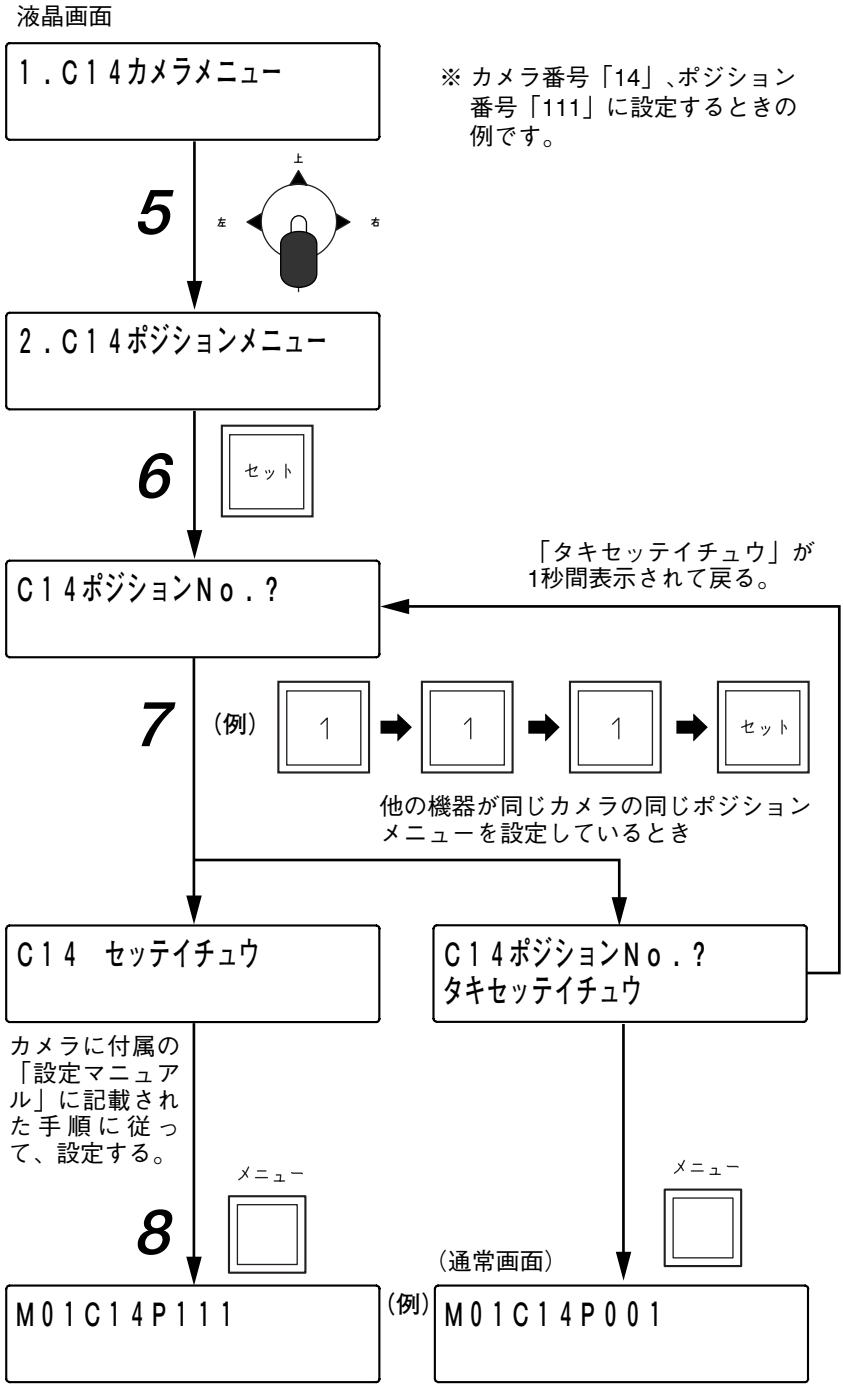
3 セットキーを押す。
液晶画面に「カメラNo.?」と表示されます。

4 テンキーでカメラ番号を入力し、セットキーを押す。
液晶画面には「1. Cxxカメラメニュー」と表示されます。

5 ジョイスティックを下に倒す。
液晶画面に「2. Cxxポジションメニュー」と表示されます。

6 セットキーを押す。
液晶画面に「ポジションNo.?」と表示されます。

7 テンキーでポジション番号を入力し、セットキーを押す。
現在のモニタが指定されたカメラ、ポジションの映像に切り換わるとともに、カメラのポジションメニュー画面が表示され、ポジションの機能設定をできるようになります。



ご注意

他のリモートコントローラが同じカメラの同じポジションのポジションメニューを設定しているときは、液晶画面に「タキセッテイチュウ」と表示され、その操作が終了するまで、設定をすることはできません。このときは、他機の設定が終了するまで待ってもう一度操作するか、メニューキーを押してリモートコントローラのメニュー画面を終了させてください。

8 設定が終了したら、メニューキーを押す。
メニュー画面が終了し、通常画面に戻ります。

■ アクセスモードの設定をする

● 自由アクセスモードに設定する

工場出荷時は、自由アクセスモードで、パスワードなしに設定されており、自由に設定できます。
自由アクセスモードでも、パスワードを設定すると、通常の操作は自由にできますが、メニュー画面に入るにはパスワードが必要となります。

1 メニュー画面「1. タキセッテイ」で、ジョイスティックを下に倒す。

液晶画面に「2. モード」と表示されます。

2 セットキーを押す。

液晶画面に「モード　1. ジユウアクセス」と表示されます。

3 セットキーを押す。

液晶画面に「パスワード?」と表示されます。

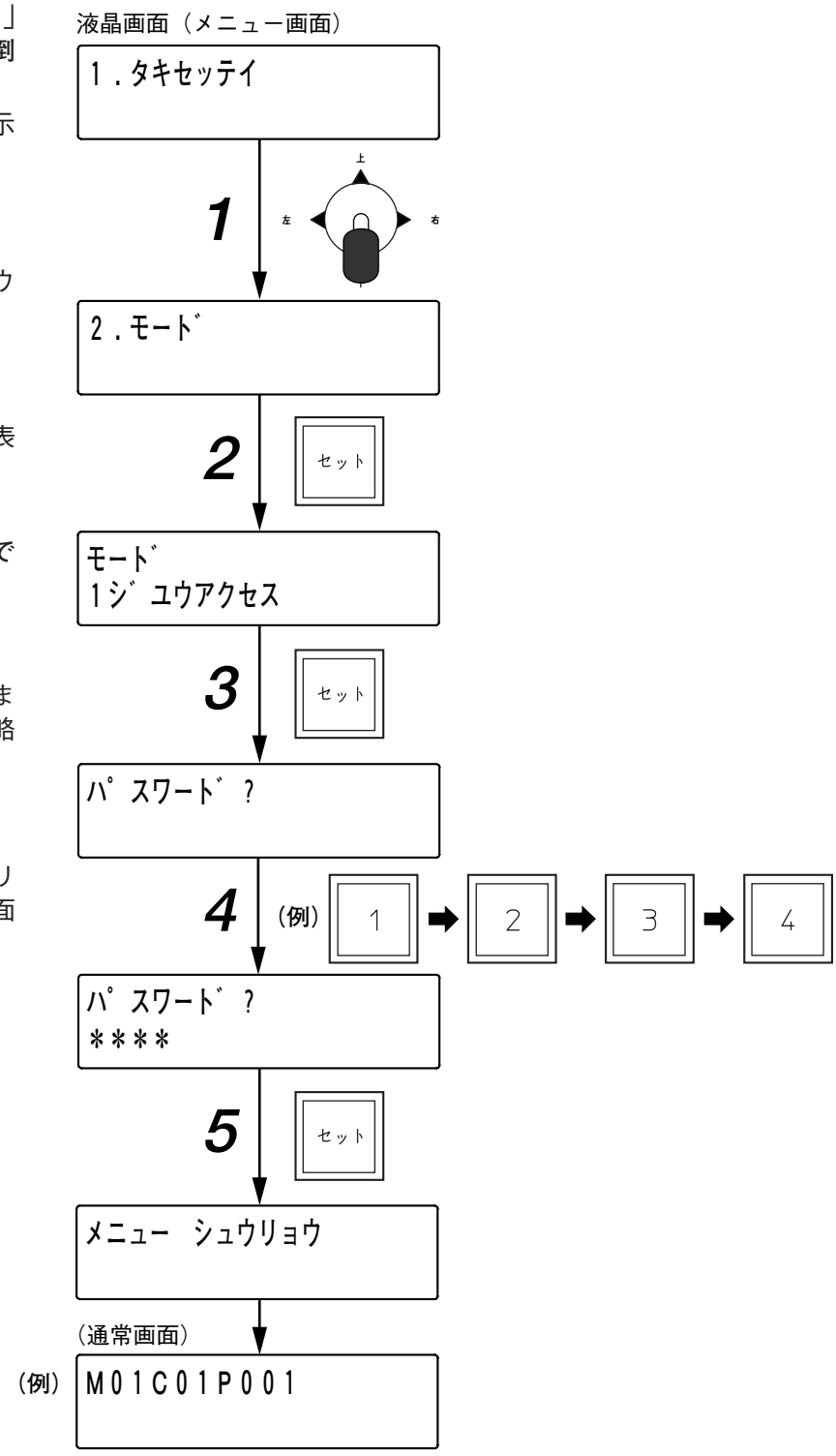
4 テンキーでパスワード（4桁までの任意の数字）を入力する。

メ　モ

パスワードなしにも設定できます。そのときは、この手順は省略します。

5 セットキーを押す。

液晶画面に「メニュー　シュウリョウ」と表示された後、通常画面に戻ります。



● ユーザーアクセスモードに設定する

ユーザーアクセスモードでは、ユーザー番号ごとに使用権限の有無を設定でき、使用権限のある場合はパスワードおよびメニュー権限の有無を設定できます。（操作の流れは右ページをご覧ください。）

1 **メニュー画面「1. タキセッテイ」で、ジョイスティックを下に倒す。**
液晶画面に「2. モード」と表示されます。

2 **セットキーを押す。**
液晶画面に「モード　1. ジユウアクセス」と表示されます。

3 **ジョイスティックを下に倒す。**
液晶画面に「モード　2. ユーザー」と表示されます。

4 **セットキーを押す。**
液晶画面に「ユーザーNo.?」と表示されます。

5 **テンキーでユーザー番号（1～10）を入力する。**

6 **セットキーを押す。**
液晶画面に「ユーザーNo.xx　シヨウ」と表示されます。

7 **使用権限の有無を設定する。**

7-1 **使用権限ありに設定するときは、セットキーを押す。**
液晶画面に「No.xx パスワード?」と表示されますので、**手順8**へ進んでください。

7-2 **使用権限なしに設定するときは、ジョイスティックを下に倒した後、セットキーを押す。**
液晶画面に「ユーザーNo.xx　ミシヨウ」と表示され、使用権限なしに設定された後、「ユーザーNo.?」の画面に戻ります。**手順5**以降を繰り返して、別のユーザー番号について設定できます。

8 **テンキーでパスワード（4桁までの任意の数字）を入力する。**

メ　モ
パスワードなしにも設定できます。そのときは、この手順は省略します。

9 **セットキーを押す。**
液晶画面に「No.xx メニュー　アリ」と表示されます。

10 **メニュー権限の有無を設定する。**

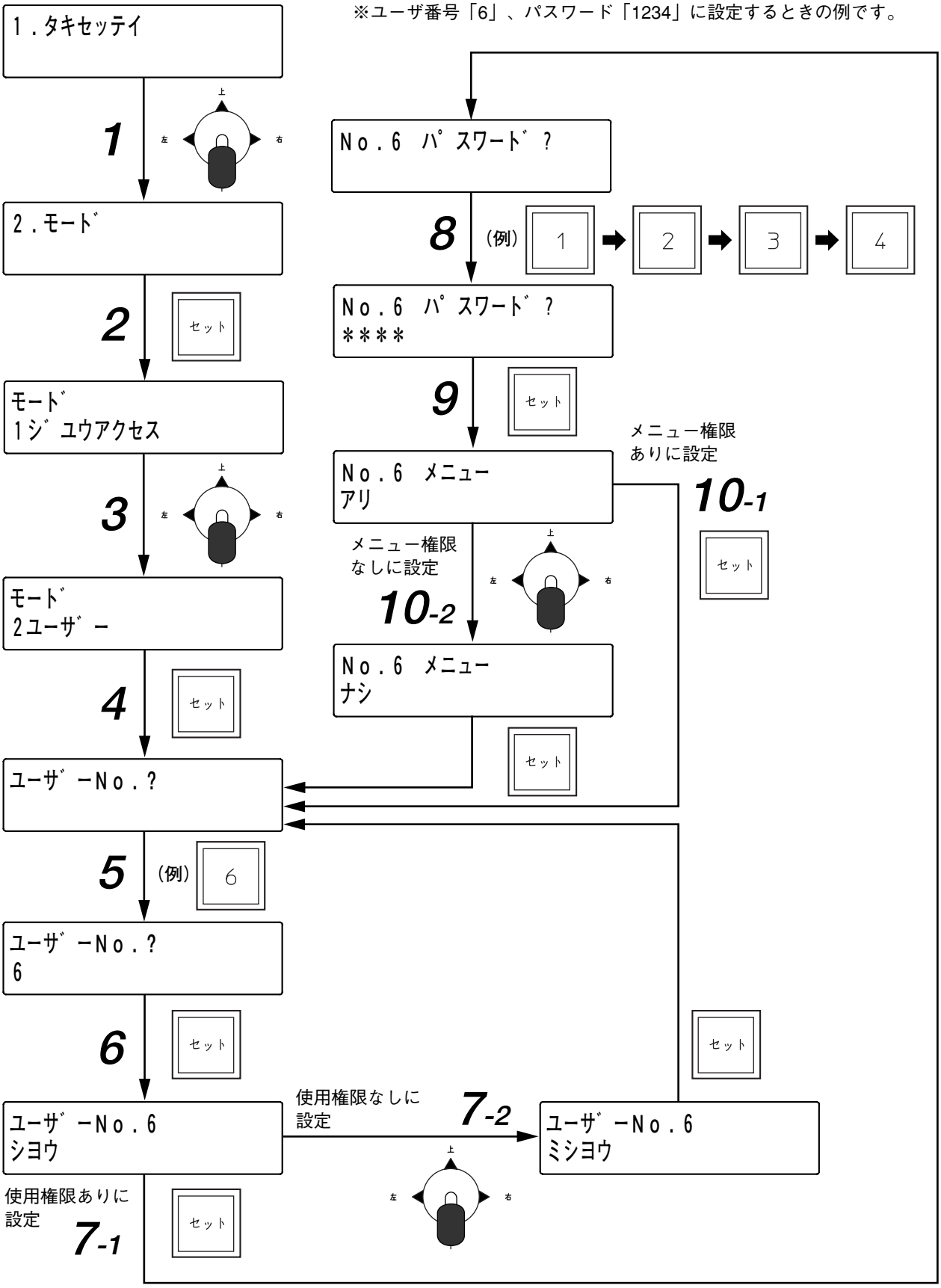
10-1 **メニュー権限ありに設定するときは、セットキーを押す。**
メニュー権限ありに設定され、「ユーザーNo.?」の画面に戻ります。**手順5**以降を繰り返して、別のユーザー番号について設定できます。

10-2 **メニュー権限なしに設定するときは、ジョイスティックを下に倒した後、セットキーを押す。**
液晶画面に「No.xx メニュー　ナシ」と表示された後、「ユーザーNo.?」の画面に戻ります。**手順5**以降を繰り返して、別のユーザー番号について設定できます。

※ 設定を終了するときは、メニューキーを押すと、通常画面に戻ります。ただし、自由アクセスモードをユーザーアクセスモードに変えたときは、「ユーザーNo.?」の画面になり、ユーザー番号を入力しなければ操作できない状態になります。

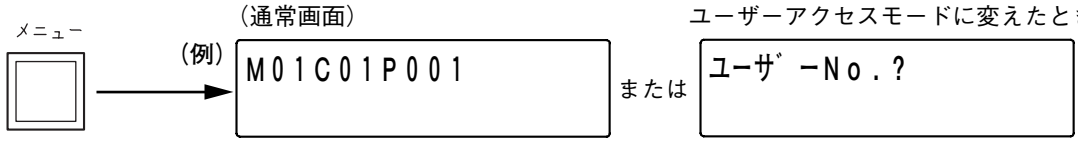
液晶画面（メニュー画面）

※ユーザ番号「6」、パスワード「1234」に設定するときの例です。



[設定を終了する]

どのステップでもメニューキーを押すと設定が終了します。



■ リモートコントローラの優先度を設定する

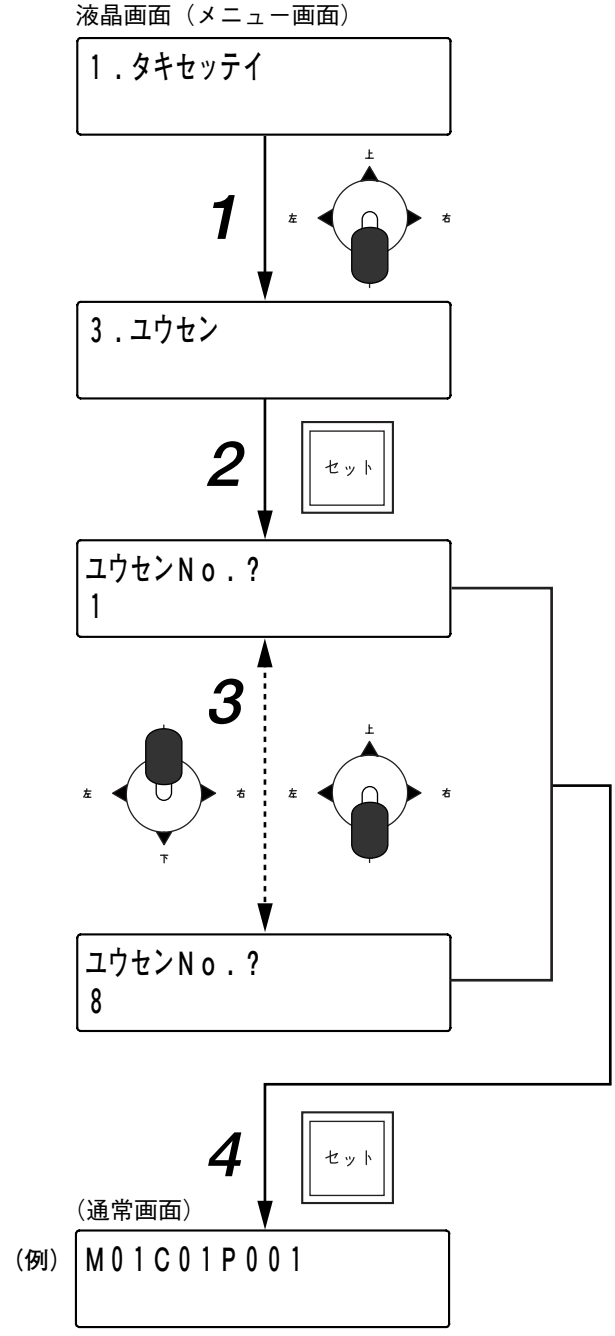
リモートコントローラの優先度を１～８で設定できます。
数字が小さいほど優先度が高くなります。すなわち、１＞２＞３＞４＞５＞６＞７＞８の順番に優先度が高くなります。
他のリモートコントローラと同じ優先度に設定しても構いません。

1 **メニュー画面「1. タキセッテイ」で、ジョイスティックを下に2回倒す。**
液晶画面に「3. ユウセン」と表示されます。

2 **セットキーを押す。**
液晶画面に「ユウセンNo.?　x」と表示されます。（x は優先順位で、１～８までの数字。工場出荷時は「4」に設定されています。）

3 **ジョイスティックを上または下に倒して、優先度を選択します。**
ジョイスティックを下に倒すと優先度の数字が１つずつ増え、上に倒すと優先度の数字が１つずつ減ります。

4 **セットキーを押す。**
通常画面に戻ります。



■ ブザーの ON/OFF を設定する

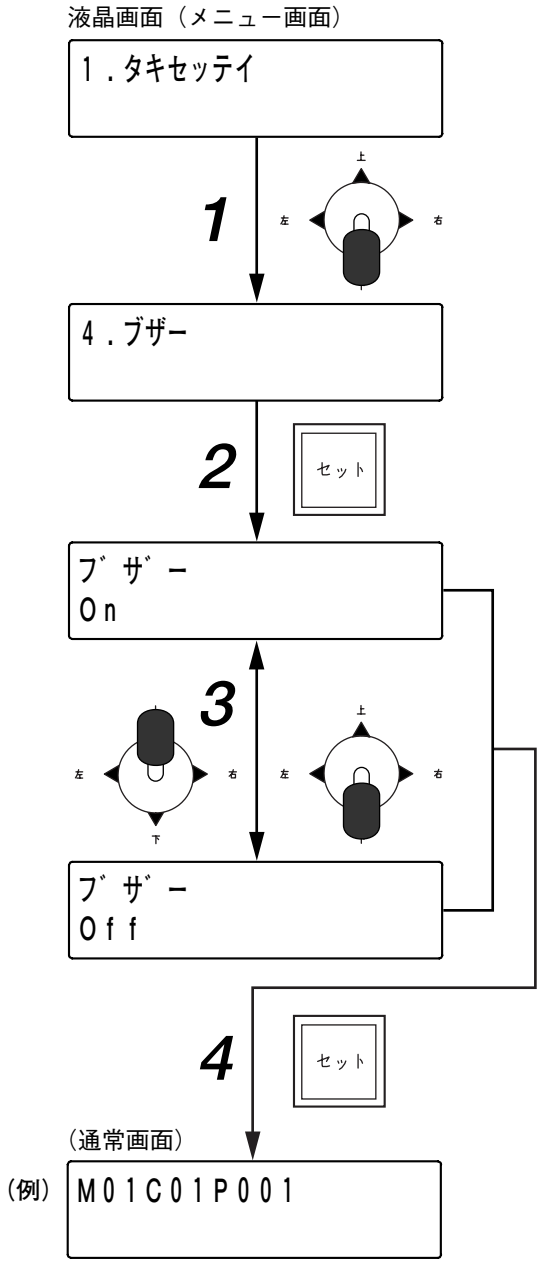
アラーム信号が入力されたときと、誤入力のときに、ブザーを鳴らすか鳴らさないかを選択することができます。(工場出荷時は「ブザー　On」に設定されています。)

1 メニュー画面「1. タキセッテイ」で、「4. ブザー」が表示されるまでジョイスティックを下に倒す。

2 セットキーを押す。
液晶画面に「ブザー　On」または「ブザー　Off」と表示されます。

3 ジョイスティックを上または下に倒して、「On」または「Off」を選択します。

4 セットキーを押す。
通常画面に戻ります。



操作を終了する（ユーザーアクセスモードのとき）

ユーザーアクセスモードに設定されているとき、操作を終了した後、ユーザーアクセスモードを抜けるには、2通りの方法があります。通常画面で**クリアキーとセットキーを同時に押す**方法と、以下に示すメニュー画面での方法とがあります。いずれの方法で終了してもかまいません。

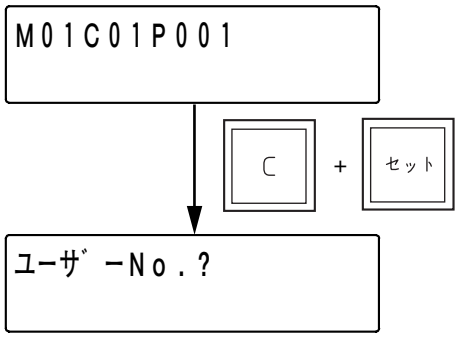
■ 通常画面で終了する

クリアキーとセットキーを同時に押す。

液晶画面に「ユーザーNo.?」と表示され、ユーザー番号とパスワードを入力しなければ操作できないようになります。

（通常画面）

（例）



■ メニュー画面で終了する

1 **メニュー画面「1. タキセッテイ」で、「5. ユーザー　シュウリョウ」が表示されるまでジョイスティックを下に倒す。**

2 **セットキーを押す。**

液晶画面に「ユーザーNo.?」と表示され、ユーザー番号とパスワードを入力しなければ操作できないようになります。

液晶画面（メニュー画面）